

かわごえ子育てプラン（川越市次世代育成支援対策行動計画）

平成24年度の進捗状況

閲覧用

平成25年9月現在

川越市子ども未来部子ども政策課

《目次》

1. かわごえ子育てプラン体系図	1
2. 進捗状況総括表	2～4
3. 重点施策の進捗状況	5～7
4. 事業別進捗状況	
(1) 基本目標 1	8～18
(2) 基本目標 2	19～29
(3) 基本目標 3	30～31
(4) 基本目標 4	32～37
(5) 基本目標 5	38～56
(6) 基本目標 6	57～63
(7) 基本目標 7	64～71

1. かわごえ子育てプラン体系図



2. 進捗状況総括表

[進捗状況] A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

項 目	事業数 (総事業数)	平成24年度末の進捗状況					平成22年度 予算額 [決算額]	平成23年度 予算額 [決算額]	平成24年度 予算額 [決算額]	平成25年度 予算額 [決算額]	平成26年度 予算額 [決算額]	評価・特記事項(施策目標別)
		A	B	C	D	E						
基本目標1 子どもと親の豊かな健康づくりの推進	50	48	1	0	0	1	1,410,594	1,580,202	1,760,143	1,654,453	0	●施策目標(1)「子どもと親の健康の確保・増進」 ●施策目標(2)「食育の推進」 ●施策目標(3)「思春期保健対策の充実」 ●施策目標(4)「小児医療の充実」
多様化、複雑化する健康に関する諸問題を解決するため、健診・相談・指導体制の充実に努めます。	50	48	1	0	0	1	1,354,779	1,495,305	1,675,347	0		
【掲載事業の内訳】												
新規事業	2	2					358	430	449	430	0	
	2	2					312	424	449	0	0	
拡充事業	21	20	1				1,231,990	1,387,115	1,559,183	1,493,016	0	
	21	20	1				1,181,913	1,319,315	1,483,982	0	0	
継続事業	27	26				1	178,246	192,657	200,511	161,007	0	
	27	26				1	172,554	175,566	190,916	0	0	
基本目標2 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進	43	41	1	0	0	1	6,402,199	3,363,933	758,477	247,799	0	●施策目標(1)「次代の親の育成」 ●施策目標(2)「子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備」 ●施策目標(3)「家庭や地域の教育力の向上」
確かな学力、豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力を育むため、市立学校の教育活動・教育環境等の整備・充実に努めます。	46	44	1	0	0	1	2,981,816	2,081,638	605,885	0		
【掲載事業の内訳】												
新規事業	0						0	0	0	0	0	
	0						0	0	0	0	0	
拡充事業	9	8	1				6,220,499	3,169,647	574,411	77,107	0	
	11	10	1				2,809,506	1,898,394	452,474	0	0	
継続事業	34	33				1	181,700	194,286	184,066	170,692	0	
	35	34				1	172,310	183,244	153,411	0	0	
基本目標3 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実	2	1	1	0	0	0	66	66	66	66	0	●施策目標(1)「親の学びの機会の充実」 ●施策目標(2)「親の社会参画の機会の充実」 ※(1)ー1「ワーク・ライフ・バランスの推進・啓発」は、こども政策課の評価(B)で集計
子育てをより楽しく充実したものにするため、子育てについて話し合い、学ぶ場や社会参画の機会の充実に努めます。	7	5	2	0	0	0	66	66	66	0		
【掲載事業の内訳】												
新規事業	1	1					66	66	66	66	0	
	1	1					66	66	66	0	0	
拡充事業	1	0	1				0	0	0	0	0	
	4	2	2				0	0	0	0	0	
継続事業	0	0					0	0	0	0	0	
	2	2					0	0	0	0	0	

※「予算額」「決算額」は、実事業数に基づき記載しております。

※対前年比欄の上段は予算額の対前年比、下段が決算額の対前年比を記載しております。

〔進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

項目	事業数 (総事業数)	平成23年度末の進捗状況					平成22年度 予算額 〔決算額〕	平成23年度 予算額 〔決算額〕	平成24年度 予算額 〔決算額〕	平成25年度 予算額 〔決算額〕	平成26年度 予算額 〔決算額〕	評価・特記事項(施策目標別)
		A	B	C	D	E						
基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実 仕事と子育てを両立しやすい社会の実現のため、事業主等に対する啓発や、地域における子育ての相互援助活動の推進に努めます。	11 25	7 15	3 5	0 3	1 2	0 0	12,463 11,707	12,588 11,747	12,914 15,347	15,012 0	0 0	●施策目標(1)「多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し」 ●施策目標(2)「仕事と子育ての両立の推進」
【掲載事業の内訳】												
新規事業	2 5	1 4	1 1				607 607	620 620	610 610	610 0	0 0	
拡充事業	2 11	0 4	2 4	0 3			92 81	77 77	75 26	75 0	0 0	
継続事業	7 9	6 7			1 2		11,764 11,019	11,891 11,050	12,229 14,711	14,327 0	0 0	
基本目標5 子育てを地域で支える仕組みづくりの推進 子育てしやすい環境を整備するため、市民の多様な保育ニーズに応えるとともに、保育所待機児童の解消に努めます。また、家庭で子育てをしている母親への支援の充実に努めます。	61 72	42 52	6 7	7 7	6 6	0 0	7,457,937 7,384,395	8,286,342 8,270,862	7,762,030 7,722,607	7,854,182 0	0 0	●施策目標(1)「地域における子育て支援サービスの充実」 ●施策目標(2)「保育サービスの充実」 ●施策目標(3)「子どもの健全育成の取組」 ●施策目標(4)「体験活動・交流の促進」 ●施策目標(5)「地域における子育て支援のネットワークづくり」 ●施策目標(6)「子育て情報提供の充実」
【掲載事業の内訳】												
新規事業	12 12	7 7	1 1	1 1	3 3		6,042,845 6,021,459	6,885,583 6,876,603	6,241,344 6,226,153	6,182,105 0	0 0	※(5)－8「子育て支援プロジェクトチームの設置」は、こども政策課の評価(B)で集計
拡充事業	24 28	14 17	3 4	5 5	2 2		1,237,684 1,206,491	1,256,045 1,228,848	1,345,747 1,325,208	1,500,688 0	0 0	
継続事業	25 32	21 28	2 2	1 1	1 1		177,408 156,445	144,714 165,411	174,939 171,246	171,389 0	0 0	
基本目標6 要支援児童へのきめ細かな取組の推進 すべての子どもが健やかに成長することができるよう、児童虐待の防止や障害を持つ児童とその家庭等への支援策の充実に努めます。	32 41	30 38	2 2	0 0	0 0	0 1	1,548,126 1,500,409	1,637,024 1,582,779	1,680,760 1,617,611	1,679,612 0	0 0	●施策目標(1)「児童虐待防止対策の充実」 ●施策目標(2)「ひとり親家庭等の自立支援の推進」 ●施策目標(3)「障害児施策の充実」
【掲載事業の内訳】												
新規事業	8 8	7 7	1 1				106,442 98,307	133,420 111,004	124,130 106,237	106,931 0	0 0	
拡充事業	7 11	6 9	1 1			0 1	12,610 12,362	15,001 14,757	18,343 16,790	19,021 0	0 0	
継続事業	17 22	17 22					1,429,074 1,389,740	1,488,603 1,457,018	1,538,287 1,494,584	1,553,660 0	0 0	

※「予算額」「決算額」は、実事業数に基づき記載しております。

※対前年比欄の上段は予算額の対前年比、下段が決算額の対前年比を記載しております。

〔進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

(単位:千円)

項目	事業数 (総事業数)	平成23年度末の進捗状況					平成22年度 予算額 〔決算額〕	平成23年度 予算額 〔決算額〕	平成24年度 予算額 〔決算額〕	平成25年度 予算額 〔決算額〕	平成26年度 予算額 〔決算額〕	評価・特記事項(施策目標別)
		A	B	C	D	E						
基本目標7 子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進 親子が安心して外出できるよう、公共施設等のバリアフリー化及び防犯対策の推進に努めます。	32 35	27 30	3 3	0 0	2 2	0 0	571,973 363,198	528,151 559,356	754,640 642,654	709,916 0	0 0	●施策目標(1)「良質な住宅・良好な居住環境の確保」 ●施策目標(2)「安全な道路交通環境の整備」 ●施策目標(3)「安全・安心なまちづくり」 ●施策目標(4)「子ども等の交通安全を確保するための活動の推進」 ●施策目標(5)「子ども等を犯罪等の被害から守るための活動の推進」 ●施策目標(6)「被害に遭った子どもの支援の」
【掲載事業の内訳】												
新規事業	3	3					12,615	10,000	20,000	15,000	0	
	3	3					10,958	8,860	19,831	0	0	
拡充事業	3	2	1				286,810	236,440	557,614	475,040	0	
	5	4	1				179,730	283,743	456,500	0	0	
継続事業	26	22	2		2		272,548	281,711	177,026	219,876	0	
	27	23	2		2		172,510	266,753	166,323	0	0	

<合計>	231 276	196 232	17 21	7 10	9 10	2 3	17,403,358 13,596,370	15,408,306 14,001,753	12,729,030 12,279,517	12,161,040 0	0 0	①事業数及び進捗状況の数値は、上段が実事業数で、下段カッコ内は再掲事業を含む総事業数を記載しております。 ②進捗状況及び達成状況(5段階評価)については、各所管課が評価を行っております。
【掲載事業の内訳】												
新規事業	28	21	3	1	3	0	6,162,933	7,030,119	6,386,599	6,305,142	0	
	31	24	3	1	3	0	6,131,709	6,997,577	6,353,346	0	0	
拡充事業	67	50	10	5	2	0	8,989,685	6,064,325	4,055,373	3,564,947	0	
	91	66	14	8	2	1	5,390,083	4,745,134	3,734,980	0	0	
継続事業	136	125	4	1	4	2	2,250,740	2,313,862	2,287,058	2,290,951	0	
	154	142	4	1	5	2	2,074,578	2,259,042	2,191,191	0	0	

※「予算額」「決算額」は、実事業数に基づき記載しております。

※対前年比欄の上段は予算額の対前年比、下段が決算額の対前年比を記載しております。

3. 重点施策の進捗状況

〔進捗状況〕 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

基本目標1 子どもと親の豊かな健康づくりの推進

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(1)-3	乳幼児健診	拡充	A	健康づくり支援課	
(1)-9	産婦・新生児訪問指導	拡充	A	健康づくり支援課	
(1)-10	乳幼児訪問指導	拡充	A	健康づくり支援課	
(1)-20	未熟児・長期療養児訪問指導	拡充	A	健康づくり支援課	
(1)-28	こども医療費の助成	拡充	A	こども政策課(H24年度まで医療助成課)	

基本目標2 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(1)-2	中学生社会体験事業	拡充	A	教育指導課	
(2)-8	川越市教職員研修事業	拡充	A	教育センター(旧 教育研究所)	
(2)-9	少人数学級、少人数指導の充実	拡充	A	学校管理課、教育指導課	
(2)-21	公立学校施設の整備	拡充	A	教育財務課	
(3)-4	家庭教育講座	拡充	A	中央公民館	

基本目標3 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(1)-4	市民との協働による父親育児講座	新規	A	こども政策課(H24年度まで子育て支援課)	

基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(1)-1	ワークライフバランスの推進・啓発	拡充	B	雇用支援課、男女共同参画課、こども政策課(H24年度まで子育て支援課)、職員課	セミナーの開催やリーフレットの送付等を通じて啓発を行ったが、ワークライフバランスを推進するためにはさらに工夫が必要なため。
(1)-8	一般事業主との連絡会	拡充	B	こども政策課(H24年度まで子育て支援課)	事業主向けのセミナーを開催したが、参加企業が少なかったため。

基本目標5 子育てを地域で支える仕組づくりの推進

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(1)-1	学童保育事業	拡充	A	教育財務課	
(1)-3	病児・病後児保育事業	拡充	C	こども育成課(H24年度まで保育課)	実施施設の増設が遅れているため。
(1)-4	一時的(特定)保育事業	拡充	C	保育課	保育スペースの問題もあり、既存園での実施は難しい。今後新規開園する保育園については当初よりスペースを確保し、実施を促していきたい。
(1)-5	地域子育て支援拠点事業	拡充	B	こども育成課(H24年度まで保育課)	中学校区に1箇所という目標に追いついていないため。
(1)-6	保育所による地域子育て支援事業	拡充	A	保育課	
(1)-7	ファミリー・サポート・センター事業	拡充	B	こども育成課(H24年度まで保育課)	依頼会員に対して提供会員が少ないため。
(2)-1	通常保育事業	拡充	C	保育課	民間保育所等の誘致を図り、定員の増加に取り組んでいるが目標を達成するには誘致が遅れているのが現状である。
(2)-3	統合保育事業	拡充	A	保育課	
(2)-4	土曜保育事業	拡充	A	保育課	
(2)-5	産休明け保育事業	拡充	D	保育課	待機児童が多い中では家庭保育室との連携が必要であり、産休明け保育を実施すると、0~2歳を保育している家庭保育室の事業を圧迫してしまうため。
(2)-6	公立保育所の運営方法の検討	拡充	D	保育課	保育サービスの質の低下を招かぬよう、他市の事例等を詳細に調査・研究していく必要があるため。
(2)-7	法人立保育所への支援	拡充	A	保育課	
(2)-9	認可外保育施設への助成制度	拡充	C	保育課	障害児の保育に対しての助成は実施しているが、運営費等の助成に対しては現在検討中であるため。
(2)-12	保育士研修	拡充	A	保育課	
(2)-13	保育サービス評価の仕組の導入検討	拡充	C	保育課	公立園については平成18年から4年連続して実施し、一定の成果を得たが法人立園での実施がないため。
(3)-10	児童館機能の整備	拡充	A	こども育成課(H24年度まで青少年課)	
(3)-17	地域子どもサポート推進事業(学校応援団推進事業・学校支援地域本部事業を含む)	拡充	A	地域教育支援課(旧 生涯学習課)	
(6)-1	育児情報発信活動	拡充	A	こども政策課(H24年度まで子育て支援課)、保育課、健康づくり支援課	
(6)-2	育児サークル支援	拡充	A	保育課、健康づくり支援課	

基本目標6 要支援児童へのきめ細かな取組の推進

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(1)-1	養育支援訪問事業	拡充	A	こども安全課(H24年度まで子育て支援課)	
(1)-2	家庭児童相談	拡充	A	こども安全課(H24年度まで子育て支援課)	
(1)-3	要保護児童対策地域協議会	拡充	A	こども安全課(H24年度まで子育て支援課)	

(1)ー6	こんにちは赤ちゃん事業	新規	A	健康づくり支援課	
(2)ー1	ひとり親家庭相談	拡充	A	こども安全課(H24年度まで子育て支援課)	
(2)ー2	母子家庭等日常生活支援事業	拡充	A	こども安全課(H24年度まで子育て支援課)	
(2)ー13	川越市父子家庭貸付事業	新規	A	こども安全課(H24年度まで子育て支援課)	
(3)ー12	肢体不自由児認可通園施設	拡充	B	保育課	調査研究中のため。

基本目標7 子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進

No.	事業名	目標	進捗状況	所管課	遅れている理由
(3)ー1	安全・安心な都市公園の整備	拡充	B	公園整備課	目標事業量である改修箇所数年間20箇所を下回ったため。
(3)ー4	公共施設等のバリアフリー化	拡充	A	道路建設課、街路課、道路環境整備課、建築住宅課(旧 建築課)	
(3)ー7	赤ちゃんの駅	新規	A	こども育成課(H24年度まで子育て支援課)	
(4)ー1	交通安全教育	拡充	A	安全安心生活課	

進捗状況集計表

	重点施策 事業数	A	B	C	D	E
		順調	やや遅れている	遅れている	当該年度予定なし	終了
基本目標1	5	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標2	5	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標3	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標4	2	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標5	19	10 52.7%	2 10.5%	5 26.3%	2 10.5%	0 0.0%
基本目標6	8	7 87.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
基本目標7	4	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
合計	44	31 70.5%	6 13.6%	5 11.4%	2 4.5%	0 0.0%

※上段:事業数 下段:%

4 事業別進捗状況

(1) 基本目標1 子どもと親の豊かな健康づくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A: 順調 B: やや遅れている C: 遅れている D: 当該年度予定なし E: 終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

1- (1) 子どもと親の健康の確保・増進

(単位: 千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	母子保健地域組織育成事業	継続		A	保健推進員に対して、乳幼児の事故防止の研修を実施。	H23 保健推進員ブロック会議3回 85人 H24 保健推進員ブロック会議3回 90人	H22	C	—	—	健康づくり支援課
							H23	A	—	—	
							H24	A	—	—	
							H25		—	—	
							H26		—	—	
							計		0	0	
2	事故防止対策	継続	事故防止対策を実施している家庭の割合 100%	A	4か月児健診の会場で事故防止の周知とパンフレットの配付の他、公民館での子育てサロン等で事故防止に関する出前講座、広報等に事故防止の啓発記事の掲載等により、事故防止の周知を図った。	4か月児健診受診児数 H22: 2,590人 H23: 2,961人 H24: 2,708人 出前講座 H22: 7回 406人 H23: 2回 48人 H24: 5回 50人	H22	A	—	—	健康づくり支援課
							H23	A	—	—	
							H24	A	—	—	
							H25		—	—	
							H26		—	—	
							計		0	0	
3	乳幼児健診	拡充	受診率(医療機関での受診率を含む) 100%	A	4か月、1歳6か月、3歳3か月児を対象に身体発育・精神発達面の健診を行った。 ・4か月児健診(48回) 受診者数2,708人 受診率94.3% ・1歳6か月児健診(48回) 受診者数2,845人 受診率92.9% ・3歳児健診(48回) 受診者数2,745人 受診率89.0%	4か月児健診受診率 H22: 95.4% H23: 95.2% H24: 94.3% 1歳6か月児健診受診率 H22: 92.63% H23: 96.3% H24: 92.9% 3歳児健診受診率 H22: 88.3% H23: 89.8% H24: 89.0%	H22	A	25,448	25,306	健康づくり支援課
							H23	A	25,676	25,316	
							H24	A	27,848	25,400	
							H25		27,848	—	
							H26		—	—	
							計		106,820	76,022	
4	乳幼児相談	拡充		A	保健センター及び南文化会館において乳幼児を対象とした相談を実施した。	H22: 31回 1,895人 H23: 30回 1,599人 H24: 30回 1,635人	H22	A	800	779	健康づくり支援課
							H23	A	836	833	
							H24	A	836	833	
							H25		836	—	
							H26		—	—	
							計		3,308	2,445	
5	電話による健康相談	継続		A	子どもと母の健康に関する専用ダイヤル「もしも健康相談」で相談を実施した。(保健師、栄養士、歯科衛生士が対応)。また、不妊・更年期等の女性相談に助産師等が対応した。	もしも電話相談 H22: 881件 H23: 551件 H24: 461件 女性相談 H22: 96件 H23: 53件 H24: 67件	H22	A	672	651	健康づくり支援課
							H23	A	672	672	
							H24	A	700	679	
							H25		700	—	
							H26		—	—	
							計		2,744	2,002	

6	2歳児親子歯科健診	継続		A	2歳から2歳6か月児とその保護者を対象に歯科健診・歯科指導を実施した。	H22: 12回 児337人 保護者264人 H23: 12回 児363人 保護者274人 H24: 12回 児312人 保護者244人	H22 A 1,545 1,495 H23 A 1,545 1,495 H24 A 1,545 1,495 H25 1,545 H26 計 6,180 4,485	健康づくり支援課
7	幼児のむし歯予防推進事業	拡充		A	市立保育園の4～5歳児クラスを対象にフッ化物洗口を実施し、啓発事業として①研修会、②リーフレット・絵本・紙芝居を作成し、配布した。 更に、「幼児のむし歯予防推進事業」を企画、立案、評価、検討等を行うため、委員会を実施した。 また、事業内容をより充実させるため、検討会を実施した。	会議・研修・関係機関との調整 H22 10回 H23 10回 H24 10回 保健指導 H22 100回 H23 100回 H24 100回 フッ化物洗口実施児童数 H22 791人 H23 833人 H24 810人	H22 A 3,264 3,263 H23 A 3,267 3,267 H24 A 3,267 3,280 H25 3,188 H26 計 12,986 9,810	健康づくり支援課
8	乳幼児の予防接種	拡充	6か月までのBCG接種率 95% 1歳6か月までの三種混合、麻しん予防接種率 95%	A	広報・ホームページによる情報提供、健康づくりスケジュールの全戸配布等による予防接種の接種勧奨の他、麻しん風しん混合Ⅱ期Ⅲ期Ⅳ期未接種者に対して個別通知による接種勧奨を行った。 11月から三種混合プラス不活化ポリオの四種混合ワクチンが導入された。そのため三種混合の接種率は低下したが、四種混合接種者数を加えると、接種率は上がる。	【接種者】 BCG H22: 2,925人 100.48 % H23: 2,717人 89.6 % H24: 2,703人 88.88 % 三種混合 H22: 12,096人 103.84 % H23: 12,312人 104.2 % H24: 10,518人 94.04 % 麻しん風疹1期 H22: 2,834人 97.19 % H23: 2,916人 96.2 % H24: 2,952人 97.07 % 麻しん風疹2期 H22: 2,835人 95.19 % H23: 2,730人 94.6 % H24: 2,933人 97.21 % 麻しん風疹3期 H22: 2,789人 89.16 % H23: 2,797人 88.5 % H24: 2,852人 92.53 % 麻しん風疹4期 H22: 2,438人 73.63 % H23: 2,486人 76.0 % H24: 2,101人 62.51 % (接種対象者数については、標準的な接種年齢で積算)	H22 A 233,870 233,535 H23 A 229,610 233,586 H24 A 231,570 219,234 H25 107,975 H26 計 803,025 686,355	健康づくり支援課
9	産婦・新生児訪問指導	拡充	訪問率(こんにちは赤ちゃん事業を含む) 100%	A	出生連絡票・電話等により希望があった概ね2か月までの産婦・新生児に対して、助産師、保健師による訪問を実施した。 こんにちは赤ちゃん訪問を実施した。	H22: 2,395件訪問 82.6% H23: 2,429件訪問 84.7% H24: 2,367件訪問 80.5%	H22 A 11,111 9,758 H23 A 10,821 10,000 H24 A 10,821 10,023 H25 10,821 H26 計 43,574 29,781	健康づくり支援課

10	乳幼児訪問指導	拡充	A	訪問による指導が必要な母子に対して、保健師等による訪問指導を実施した。	H22: 妊産婦 112件 乳幼児217件 H23: 妊産婦 155件 乳幼児284件 H24: 妊産婦 154件 乳幼児278件	H22	A	60	60	健康づくり支援課
						H23	A	60	60	
						H24	A	60	60	
						H25		60		
						H26				
						計		240	180	
11	不妊に対する支援	継続	A	特定不妊治療を受ける夫婦を対象にその治療に要する費用の一部を助成した。 不妊専門相談センターにおいて専門相談を実施した。	特定不妊治療助成件数 H22: 285件 H23: 320件 H24: 451件 相談件数 H22: 13組 H23: 14組 H24: 22組	H22	A	40,033	40,033	健康づくり支援課
						H23	A	52,230	45,156	
						H24	A	63,395	63,395	
						H25		61,500		
						H26				
						計		217,158	148,584	
12	妊婦健康診査	拡充	A	妊婦に対し委託医療機関で健康診査を行った。 委託医療機関での検診が受けられない妊婦を対象に健診費用の一部を助成した。	H22: 一般健診14回 延35,529人 H23: 一般健診14回 延34,148人 H24: 一般健診14回 延36,512人	H22	A	262,594	245,030	健康づくり支援課
						H23	A	283,081	250,111	
						H24	A	269,748	269,748	
						H25		256,395		
						H26				
						計		1,071,818	764,889	
13	両親学級	拡充	A	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援した。	プレパパママスクール H22: 5回 102組 200人 (夫再掲 98人) H23: 6回 129組 257人 (夫再掲126人) H24: 6回 129組257人 (夫再掲127人)	H22	A	25	16	健康づくり支援課
						H23	A	19	19	
						H24	A	19	19	
						H25		19		
						H26				
						計		82	54	
14	マタニティクッキング	継続	A	妊娠5か月以上の妊婦を対象に妊娠期及びその後の食生活をよりよくすることを目的に調理実習、講話を行った。	H22: 5回 40人 H23: 6回 60人 H24: 6回 61人	H22	A	37	37	健康づくり支援課
						H23	A	37	37	
						H24	A	37	37	
						H25		37		
						H26				
						計		148	111	
15	妊婦歯科健診	継続	A	妊娠5か月以上の妊婦を対象に歯科健診と歯みがき指導を実施した。	妊婦歯科健診 H22: 12回 113人 H23: 12回 127人 H24: 12回 122人	H22	A	650	608	健康づくり支援課
						H23	A	650	600	
						H24	A	650	600	
						H25		650		
						H26				
						計		2,600	1,808	
16	母子栄養食品の支給	継続	E	低所得者の妊産婦及び乳児に対して粉ミルクを支給し、併せて健康状態、育児状況の把握、指導を行う。	粉ミルクの支給 H22: 妊婦3人 乳幼児14人 H23: 乳児3人	H22	A	234	204	健康づくり支援課
						H23	A	260	59	
						H24	E	—	—	
						H25		—		
						H26				
						計		494	263	

17	離乳食教室	継続	A	月齢に応じた離乳食の進め方について教室を開催し、離乳食の講話と試食を行った。 4～6か月対象、6～8か月対象	4～6か月対象 H22:12回 308組 H23:12回 308組 H24:12回 316組 6～8か月対象 H22:12回 272組 H23:12回 242組 H24:12回 238組	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — —	150 150 150 150 — 600	150 150 150 — — 450	健康づくり支援課
18	おやつと歯みがき教室	継続	A	2歳6か月～4歳未満の児とその保護者を対象におやつづくりの実習や講話を行い、おやつについての正しい知識の普及を図った。また、口腔内の手入れの仕方について指導を行った。	H22:12回 155組 H23:12回 114組 H24:12回 140組	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — —	83 75 75 75 — 308	83 75 75 — — 233	健康づくり支援課
19	育児関連講座等への協力	拡充	A	公民館、育児サークル等からの依頼により保健師、栄養士、歯科衛生士が会場に出向き、それぞれのテーマに沿った内容の講義、実習等を実施した。	出前講座開催回数 H22:7回 406人 H23:3回 63人 H24:5回 201人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — —	— — — — — 0	— — — — — 0	健康づくり支援課
20	未熟児・長期療養児訪問指導	拡充	A	訪問による指導が必要な未熟児・長期療養児世帯に対し、保健師等による訪問指導を実施した。	未熟児等訪問指導 H22:73件 H23:98件 H24:85件	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — —	— — — — — 0	— — — — — 0	健康づくり支援課
21	小さく生まれた子どもを持つ親の会	継続	A	ひよこサロン(小さく生まれた子どもを持つ親の会)を開催し、親同士の交流の場として、育児不安の軽減を図った。	ひよこサロン H22:11回 延223人 H23:12回 延169人 H24:12回 延142人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — —	53 50 50 50 — 203	53 50 50 — — 153	健康づくり支援課
22	ダウン症のある子どもを持つ親の会	継続	A	いもっこの会(ダウン症のある子どもを持つ親の会)を開催し、親同士の交流の場として情報交換を実施した。	いもっこの会 H22:9回 延94人 H23:11回 延88人 H24:11回 延96人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — —	— — — — — 0	— — — — — 0	健康づくり支援課
23	食物アレルギーのある子どもを持つ親の会	継続	A	ポッポサークル(食物アレルギーのある子どもを持つ親の会)を開催し、親同士の情報交換と仲間づくりを支援した。	ポッポサークル H22:12回 延72人 H23:7回 延35人 H24:6回 延69人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — —	— — — — — 0	— — — — — 0	健康づくり支援課

24	すくすくクリニック	継続	A	低体重児等を対象に診断、相談を行い、健やかな発育発達を支援した。	すくすくクリニック H22: 12回 延65人 H23: 11回 延40人 H24: 10回 延59人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A A A 計	396 396 396 396 1,584	396 363 330 1,089	健康づくり支援課
25	発育・発達クリニック	拡充	A	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に医師による診察・相談を行い、発育発達を支援した。平成24年度から子どもの心の健康相談と統合した。	発育発達クリニック H22: 11回 延71人 H23: 11回 延71人 H24: 23回 延117人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A A A 計	960 960 1,920 1,920 5,760	880 880 1,840 3,600	健康づくり支援課
26	子どものこころの健康相談	拡充	E	平成24年度より発育発達クリニックと統合した。こころの健康相談対象者は発育発達クリニックにて支援した。	子どものこころの健康相談 H22: 11回 56人 H23: 11回 48人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A E A A 計	960 960 — — 1,920	880 880 — — 1,760	健康づくり支援課
27	多胎児をもつ親の会	継続	A	ハッピーエンジェル(多胎児をもつ親の会)を開催し、育児不安の解消を図った。	ハッピーエンジェル H22: 12回 延375人 H23: 12回 延175人 H24: 12回 延244人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A A A 計	— — — — 0	— — — — 0	健康づくり支援課
28	こども医療費の助成	拡充	A	こどもが必要とする医療を簡便に受けられるようにし、こどもの健康の向上と福祉の増進を図るためこどもに対する医療費の一部を支給した。 支給件数 531,467件 支給額 895,236,811円	支給件数 H17 282,228件 H18 293,053件 H19 292,897件 H20 301,391件 H21 290,709件 H22 374,630件 H23 448,135件 H24 531,467件	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A A A 計	691,919 830,618 1,011,797 1,082,700 3,617,034	661,845 793,328 952,285 2,407,458	こども政策課 (H24年度までは医療助成課)
29	赤ちゃん広場	新規	A	育児サークルの支援として、育児学習・情報交換の場の提供した。	赤ちゃん広場 H22: 10回 延496人 H23: 10回 延409人 H24: 10回 延429人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A A A 計	30 30 30 30 120	30 30 30 90	健康づくり支援課
30	母子健康手帳の交付	新規	A	市役所や各出張所にて、届出により妊婦に対して母子健康手帳を交付した。	妊娠届出数 H22: 2,961件 H23: 2,905件 H24: 3,165件 母子健康手帳交付数 H22: 3,034件 H23: 2,984件 H24: 3,256件	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A A A 計	328 400 419 400 1,547	282 394 419 1,095	健康づくり支援課

【網 掛 け】 重点施策

【進捗状況】 A: 順調 B: やや遅れている C: 遅れている D: 当該年度予定なし E: 終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位: 千円)

1-(2) 「食育」の推進

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	保育園等における食育の推進	拡充		A	市立保育園において、健全な成長発達を目指し、食事の楽しさや大切さ、衛生習慣について栄養教育を行った。 公立保育園20園 各6回	毎年 公立保育園20園 各6回	H22	A	—	—	保育園
					H23	A	—	—			
H24	A	—	—								
H25		—	—								
H26		—	—								
計		0	0								
A	「保育園職員研修会」において朝食のチラシを配布した。また、市内小学校5校の就学前健診に出向き、朝食の大切さを周知した。	H22「食育講演会」1回 「幼児のむし歯予防推進事業研修会」1回 H23「食育講演会」1回 「幼児のむし歯予防推進事業研修会」1回 H24 朝食のチラシ配布数1402枚	H22	B	40	40	健康づくり支援課				
			H23	B	40	40					
			H24	A	40	0					
			H25		0	—					
			H26		—	—					
			計		120	80					
2	小・中学校における食育の推進	継続	A	学校における食育推進のため、食に関する全体計画を作成した。学校保健広報「わかあゆ」に食育に関する内容を取り上げ、保護者に対しても食育の充実推進の協力を求めた。	H22 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部 H23 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部 H24 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部	H22	A	325	—	教育指導課	
				H23	A	325	290				
				H24	A	250	277				
H25		250	—								
H26		—	—								
計		1,150	567								
A	小中学校への食に関する指導 小学校2年生2,909人 187回 各種広報誌の発行 6回	H22 小学校2年生3,000人 193回 H23 小学校2年生2,877人 186回 H24 小学校2年生2,909人 187回 毎年各種広報誌発行6回	H22	A	—	—	学校給食課				
			H23	A	—	—					
			H24	A	—	—					
			H25		—	—					
			H26		—	—					
計		0	0								
A	栄養教諭・学校栄養職員と合同の「食育」推進のための指導法研修会を実施し、望ましい食生活や栄養などに関する情報及び効果的な指導方法について各教職員に周知した。また、栄養教諭による、実践事例発表を行い、実際の指導場面の発表を行った。	H23 食に関する指導法研修会 小学校教諭 27名 中学校教諭 21名 栄養教諭、栄養職員 9名 学校給食課、給食センター5名 H24 食に関する指導法研修会 小学校教諭 31名 中学校教諭 20名 特別支援 1名 栄養教諭、栄養職員 10名 学校給食課、給食センター7名	H22	A	—	—	教育センター (旧 教育研究所)				
			H23	A	25	25					
			H24	A	25	15					
			H25		25	—					
			H26		—	—					
			計		75	40					

3	地域の特色を活かした「食育」の実践活動	継続	学校給食への川越産野菜使用割合 20.0% (平成30年度)	A	地場産農産物の学校給食への利用 19.6% 地場産物を利用した料理教室の開催 地場産物に関する食育資料提供 夏休み料理教室の開催 食育用パネル作成	料理教室開催 毎年2回 毎年地場産物に関するパネル、パワーポイント作成	H22	B	—	—	学校給食課
							H23	A	—	—	
							H24	A	—	—	
							H25	—	—		
							H26				
							計	0	0		
				A	・地場農産物の学校給食への利用推進 ・学校給食への安定納入に要する経費への助成	H23 巨峰 950kg 直売価格と給食納入価格差補填 95,000円 納品のために要する経費 53,926円 H24 巨峰 797kg 直売価格と給食納入価格差補填 119,550円 納品のために要する経費 46,990円	H22	A	150	147	農政課
						H23	A	150	148		
						H24	A	200	167		
						H25		200			
						H26					
							計	700	462		
				A	地場農産物を保育園給食に取り入れるため、給食材料納入業者に対し、積極的に納入するよう働きかけた。米については、川越産又は埼玉県産が納入されるようになった。		H22	B	—	—	保育課
						H23	A	—	—		
						H24	A	—	—		
						H25		—			
						H26					
							計	0	0		
4	情報発信活動	拡充	A	食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士の会等がイベント開催時に食生活改善の掲示物を作成し、展示したり、試食やエプロンシアター等を実施し情報を発信した。 また、歯科医師会、地域活動栄養士の会、歯科衛生士会と共同で作成した食育やむし歯予防をはじめ幼児の正しい生活習慣を身につけるための絵本を配布した。	食生活改善推進員協議会、地域活動栄養士の会 歯ッピーフェスティバル、健康まつりに参加協力。 絵本と紙芝居 H22 絵本 2,700冊配布 紙芝居 56冊配布 H23 絵本 2,700冊配布 紙芝居 4冊配布 H24 絵本 2,700冊配布	H22	A	126	125	健康づくり支援課	
						H23	A	126	125		
						H24	A	129	142		
						H25		50			
						H26					
						計	431	392			
5	乳幼児健診・相談時の栄養相談	拡充	A	1歳6か月健診や乳幼児相談の際に栄養士による個別相談を実施し、食に関する不安の解消、望ましい食生活への支援を行った。	栄養相談 H23 1歳6か月児健診 246件 乳幼児相談 267件 H24: 1歳6か月児健診 259件 乳幼児相談 251件	H22	A	—	—	健康づくり支援課	
						H23	A	—	—		
						H24	A	—	—		
						H25		—	—		
						H26		—	—		
						計	0	0			

6	食生活改善推進員協議会の活動支援	継続		A	親子料理教室などをはじめとする調理実習等の事業を実施。健康まつり、歯ッピースフェスティバルなどのイベントにて食育を啓発した。また、会員は、食育等研修を受講し資質の向上に努めた。	H22、H23 親子料理教室の実施 1回/年 歯ッピースフェスティバル 1回/年 健康まつりに参加協力 1回/年 食育に関する研修 随時 H24 親子料理教室の実施 3回/年 歯ッピースフェスティバル 1回/年 健康まつりに参加協力 1回/年 食育に関する研修 随時	H22 A 45 45 H23 A 45 45 H24 A 45 45 H25 18 H26 計 153 135	健康づくり支援課
7	地域活動栄養士会との協働	拡充		A	地域活動栄養士の会と共催し、親子に対し食育の推進を図った。	たのしい食育 H22: 4回 109人 H23: 4回 100人 H24: 4回 137人	H22 A 28 28 H23 A 28 28 H24 A 28 28 H25 28 H26 計 112 84	健康づくり支援課
8	妊娠期・離乳期・幼児期を対象とした食に関する事業における食育の推進	拡充		A	妊娠期から幼児期まで、ライフステージにおいて必要な知識の普及啓発を図り、食を通じた健康づくりの支援を行った。	各事業の実施状況参照	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	健康づくり支援課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

1-(3) 思春期保健対策の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績 (単位:千円)				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	薬物乱用防止啓発	継続		A	<ul style="list-style-type: none"> 保健所窓口やイベント会場(健康まつり会場、夏まつり会場)において、リーフレット等を配布し啓発を行った。 健康まつりにキャラバンカーの招致を行った。 県と連携し、青少年キャンペーン(参加会場:坂戸駅)に参画する等、薬物乱用防止啓発活動を行った。 庁舎電子表示盤等により啓発の広報を行った。 		H22 A 92 92 H23 A 69 69 H24 A 72 71 H25 68 H26 計 301 232	保健総務課			
					<ul style="list-style-type: none"> 市立小・中・高等学校で薬物乱用防止教室を開催するよう指示し、児童生徒へ啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 市立小・中・高校全校で実施薬物乱用防止教室実施回数 H24 小32校 平均3.8回/年 中22校 平均2.9回/年 高・特 各1回/年 保護者参加実施校 小16校 中8校 	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	教育指導課			

2	思春期保健相談	継続	思春期保健講座 (4クール/年)	A	思春期保健講座 1講座開催 (当初、目標を全4回としていたが、参加者の意向により実施回数を見直し全1回とした)	H22 参加者88名 H23 参加者123名 H24 参加者108名	H22 A 205 92 H23 A 139 98 H24 A 129 33 H25 78 H26 計 551 223	保健予防課
				A	随時、電話等で思春期の保健相談を実施したが、相談件数はあがらなかった。	相談件数 H22: 4件 H23: 2件 H24: 0件	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 H26 計 0 0	健康づくり支援課
3	子育て体験学習	拡充	10校	A	中学生を対象に「命の力」「命のつながり」を話し伝えることで、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養い、実際の乳幼児やその親とふれあうことで、自分がうまれてきたことに喜びを感じてもらうことを目的として、市民活動団体と協働委託事業で講座を実施した。	H22: 市内中学校7校で実施 ※提案型協働補助事業のため、市民活動支援課の予算で実施 H23: 市内中学校12校で実施 H24: 市内中学校9校で実施	H22 A 54 54 H23 A 350 350 H24 A 350 350 H25 350 H26 計 1,104 754	こども育成課 (H24年度まで:子育て支援課、青少年課)
				A	中学生社会体験事業及び交流事業 公立保育園受け入れ実績 27校 57回 受け入れ生徒数 790名 保育園訪問交流会 2校 2回 140名	社会体験事業等受け入れ H22 15校 H23 23校 H24 15校	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 H26 計 0 0	保育課
				A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、赤ちゃんボランティア募集の周知に協力を行った。	チラシの配付	H22 B — — H23 A — — H24 A — — H25 H26 計 0 0	健康づくり支援課
				A	事業の実施について、どのような方法があるか、関係各課と検討した。		H22 B — — H23 B — — H24 A — — H25 H26 計 0 0	中央公民館
				A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、中学校との調整を行った。		H22 B — — H23 A — — H24 A — — H25 H26 計 0 0	教育指導課

4	思春期健康教育	拡充	出前講座 (10回/年)	A	中学・高校・大学への出前講座 年10回実施	平成22年度 参加者229名 平成23年度 参加者818名 平成24年度 参加者2239名	H22	A	330	33	保健予防課
							H23	A	132	165	
				A	依頼により健康教育を実施した。	H22: 1回 16人 H23: 1回 15人 H24: 1回 15人	H22	A	—	—	健康づくり支援課
							H23	A	—	—	
				A			H24	A	—	—	
							H25		—	—	
							H26		—	—	
							計		0	0	
5	飲酒・喫煙防止対策	継続	未成年の飲酒・喫煙率 0%	A	飲酒・喫煙防止についてチラシを作成、保健推進員協議会等団体の協力によりラジオ体操や夏祭りなどイベントにて啓発活動を実施した。 「広報川越」に喫煙防止の記事を掲載。 保健推進員の研修において、川越みんなの健康プランにおける「タバコ」の研修を実施した。	H23【研修会】 保健推進員 3回 食生活改善推進員協議会 1回 健康づくりボランティアやまぶき21 1回 H24【研修会】 保健推進員 3回	H22	A	26	26	健康づくり支援課
							H23	A	17	17	
							H24	A	17	10	
							H25		10		
							H26		—	—	
							計		70	53	
6	性感染症対策	拡充	性感染症検査、相談及び即日検査 (月3回)	A	性感染症検査・相談 月2回(年24回) 即日検査 年12回 計 年36回実施	H22 受検者474名 H23 受検者527名 H24 受検者384名	H22	A	401	281	保健予防課
							H23	A	531	327	
							H24	A	486	410	
							H25		430		
							H26		—	—	
							計		1,848	1,018	

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

1-(4) 小児医療の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	小児救急医療対策事業	継続		A	川越地区救急医療圏と比企地区救急医療圏の複数にわたり事業を実施する必要があるため、平成17年度より埼玉県が「小児救急医療拠点病院運営事業」として該当医療機関に補助金を交付している。	小児二次救急医療機関数 H23 川越地区: 1 比企地区: 0 H24 川越地区: 1 比企地区: 0	H22	A	—	—	保健医療推進課
							H23	A	—	—	
							H24	A	—	—	
							H25		—	—	
							H26		—	—	
							計		0	0	
2	休日急患・小児夜間診療事業	継続		A	診療日数365日 患者数 7,777人(うち小児科4,816人)	患者数 H23: 5,377人(うち小児科3,864人) H24: 7,777人(うち小児科4,816人) ※H23年度までは市立診療所で実施していたが、H24年度からは川越市医師会夜間休日診療所で実施	H22	A	46,206	44,646	保健医療推進課 (診療所)
							H23	A	46,304	44,622	
							H24	A	37,500	37,500	
							H25		—	—	
							H26		—	—	
							計		130,010	126,768	

3	未熟児養育医療給付	継続	A	養育のため指定養育医療機関に入院加療が必要な未熟児等に対して、その養育に必要な医療給付を行った。	受給者 H22:100人 H23:111人 H24:116人	H22	A	29,150	29,150	健康づくり支援課
						H23	A	26,312	25,459	
						H24	A	31,106	27,707	
						H25		31,106		
						H26				
						計		117,674	82,316	
4	自立支援医療(育成医療)給付	継続	A	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療の給付を行った。	受給者 H22:115人 H23:108人 H24:113人	H22	A	7,380	7,380	健康づくり支援課
						H23	A	10,150	9,213	
						H24	A	10,151	7,071	
						H25		10,131		
						H26				
						計		37,812	23,664	
5	結核児童療育給付	継続	A	結核児童に対してその児童の心身両面にわたる健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療等の給付をする。	受給者 H22:0人 H23:0人 H24:0人	H22	A	127	—	健康づくり支援課
						H23	A	127	—	
						H24	A	127	—	
						H25		127		
						H26				
						計		508	0	
6	小児慢性特定疾患医療給付	継続	A	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行った。	受給者 H22:255人 H23:263人 H24:267人	H22	A	50,687	47,266	健康づくり支援課
						H23	A	52,929	46,923	
						H24	A	53,891	51,209	
						H25		53,891		
						H26				
						計		211,398	145,398	

(2)基本目標2 心身の健やかな成長に資する教育環境づくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

2-(1) 次代の親の育成

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	男女平等教育研修会	継続		A	川越市における男女共同基本計画の周知を各教職員に図ると共に、男女平等意識を高める学校での実践についての研修を推進した。「男女平等教育研修会」を実施し、全校の人権教育担当者等に男女共同参画の視点に立った教育の推進についての研修を行った。	研修会参加者数 H22 55名 H23 50名 H24 55名	H22	A	—	—	教育指導課
					H23	A	—	—			
H24	A	—	—								
H25											
H26											
計		0	0								
1				A	市内各学校の全教職員に川越市における男女共同参画基本計画の周知と、子どもたちの男女平等意識を高める学校での取組について研修を行った。	研修会参加者数 H22 55名 H23 50名 H24 55名	H22	A	10	5	教育センター (旧 教育研究所)
					H23	A	8	0			
H24	A	5	0								
H25		5									
H26											
計		28	5								
2	中学生社会体験事業	拡充	実施率 100%	A	川越市中学生社会体験事業推進委員会での協議をもとに中学生が地域のなかで活動することにより多くの人々とのふれあいを通して社会性や自立心を育むことができた。「働くことへの大切さや意味を考える機会となった」や「仕事をするために周りの人と協力が大切なことを理解した」などAの判定をする生徒の数値が昨年度よりも増えている。	H22	A	1,398	1,398	教育指導課	
						・参加生徒数 2,825名 ・協力事業所 のべ771事業所	H23	A	1,398		1,375
						H24	A	1,398	1,362		
						H25		1,398			
						H26					
						計		5,592	4,135		

3	子育て体験学習 (1-(3)-3の再掲)	拡充	10校	A	中学生を対象に「命の力」「命のつながり」を話し伝えることで、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養い、実際の乳幼児やその親とふれあうことで、自分がうまれてきたことに喜びを感じてもらうことを目的として、市民活動団体と協働委託事業で講座を実施した。	H22: 市内中学校7校で実施 ※提案型協働補助事業のため、市民活動支援課の予算で実施 H23: 市内中学校12校で実施 H24: 市内中学校9校で実施	H22	A	再掲	再掲	こども育成課 (H24年度まで:子育て支援課、青少年課)
				H23	A	再掲	再掲				
				H24	A	再掲	再掲				
				H25		再掲					
				H26							
計											
A	中学生社会体験事業及び交流事業 公立保育園受け入れ実績 27校 57回 受け入れ生徒数 790名 保育園訪問交流会 2校 2回 140名	社会体験事業等受け入れ H22 15校 H23 23校 H24 15校	H22	A	再掲	再掲	保育課				
H23	A	再掲	再掲								
H24	A	再掲	再掲								
H25		再掲									
H26											
計											
A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、赤ちゃんボランティア募集の周知に協力した。	チラシ配布	H22	B	再掲	再掲	健康づくり支援課				
H23	A	再掲	再掲								
H24	A	再掲	再掲								
H25		再掲									
H26											
計											
A	事業の実施について、どのような方法があるか、関係各課と検討した。		H22	B	再掲	再掲	中央公民館				
H23	B	再掲	再掲								
H24	A	再掲	再掲								
H25		再掲									
H26											
計											
A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、中学校との調整を行った。		H22	B	再掲	再掲	教育指導課				
H23	A	再掲	再掲								
H24	A	再掲	再掲								
H25		再掲									
H26											
計											

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

2-2(2) 子どもの生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	小・中学校における食育の推進 (1-(2)-2の再掲)	継続		A	学校における食育推進のため、食に関する全体計画を作成した。学校保健広報「わかあゆ」に食育に関する内容を取り上げ、保護者に対しても食育の充実推進の協力を求めた。	H22 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部 H23 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部 H24 全体計画作成 市内54校 「わかあゆ」配布部数 25000部	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	教育指導課			
					小中学校への食に関する指導 小学校2年生2,909人 187回 各種広報誌の発行 6回	H22 小学校2年生3,000人 193回 H23 小学校2年生2,877人 186回 H24 小学校2年生2,909人 187回 毎年各種広報誌発行6回	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	学校給食課			
					栄養教諭・学校栄養職員と合同の「食育」推進のための指導法研修会を実施し、望ましい食生活や栄養などに関する情報及び効果的な指導方法について各教職員に周知した。また、栄養教諭による、実践事例発表を行い、実際の指導場面の発表を行った。	H23 食に関する指導法研修会 小学校教諭 27名 中学校教諭 21名 栄養教諭、栄養職員 9名 学校給食課、給食センター5名 H24 食に関する指導法研修会 小学校教諭 31名 中学校教諭 20名 特別支援 1名 栄養教諭、栄養職員 10名 学校給食課、給食センター7名	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	教育センター (旧 教育研究所)			
2	子どもの情報提供事業	継続		A	かわごえし子ども情報誌「小江戸探検隊」を年2回発行。市立小中学校の児童生徒に学校を通じて配布。	H22 2回発行 計57,100部 H23 2回発行 計54,640部 H24 2回発行 計53,700部	H22 A 619 493 H23 A 469 452 H24 A 478 374 H25 391 H26 計 1,957 1,319	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)			
3	臨床心理士配置事業	拡充		A	教育センター分室(リベアラ)に1名配置し、学校やリベアラにおける相談活動の指導、助言を行った。		H22 A 1,373 1,373 H23 A 1,373 1,464 H24 A 1,373 1,373 H25 1,386 H26 計 5,505 4,210	教育センター (旧 教育研究所)			

4	さわやか相談員配置事業	継続	A	児童生徒や保護者への相談活動、家庭訪問等を実施した。 ・中学校22校に22名配置	H22 中学校22校に22人配置 H23 中学校22校に22人配置	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A A A 計	26,851 22,007 21,428 19,705 89,991	26,072 21,324 19,878 計	教育センター (旧 教育研究所)
5	学校カウンセリング研修事業	継続	A	教職員や川越市さわやか相談員を対象に学校カウンセリングに関する研修を実施した。 学校カウンセリング中級研修会9回 162名 学校カウンセリング初級研修会3回 24名 学校教育相談コンサルテーション研修会2回 101名 特色あるさわやか相談室づくり研修会3回 66名	学校カウンセリング中級研修会 H22 9回 109名 H23 9回 110名 H24 9回 162名 学校カウンセリング初級研修会 H22 3回 21名 H23 3回 12名 H24 3回 24名 学校教育相談コンサルテーション研修会 H22 2回 96名 H23 2回 85名 H24 2回 101名 特色あるさわやか相談室づくり研修会 H22 3回 66名 H23 3回 66名 H24 3回 66名	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A A A 計	208 208 190 190 796	169 163 157 489	教育センター (旧 教育研究所)
6	適応指導教室	継続	A	教育センター分室(リバーラ)において、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。		H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A A A 計	37 37 69 44 187	25 59 61 計	教育センター (旧 教育研究所)
7	総合的な学習の時間の支援	継続	A	総合的な学習の時間について「特色ある学校づくり研修会」を実施した。小・中学校の代表が実践発表を行い、近隣の小中学校でグループ協議を持ち、情報交換を行うことができた。	特色ある学校づくり研修会 参加者 H22 53名 H23 50名 H24 55名	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A A A 計	20 15 10 10 55	20 0 0 20 計	教育センター (旧 教育研究所)
8	川越市教職員研修事業	拡充	A	川越市立学校(小・中・高・特別支援学校)の教職員を対象とした研修会を実施した。研修回数や内容の工夫・改善、見直しを図り、コースによる選択制を拡大することで参加意欲を向上させるとともに参加しやすい体制を整えた。また、今日の教育課題に対応し、臨時研修を実施し、指導力の向上を図ることができた。	H22 104講座 延べ6,362名参加 H23 106講座 延べ7,243名参加 H24 110講座 延べ7,312名参加	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A A A 計	4,608 3,858 3,835 3,497 15,798	3,264 3,672 3,470 計	教育センター (旧 教育研究所)

9	少人数学級、少人数指導の充実	拡充		A	中学校1学年で、1学級あたり概ね35人を超え、かつ県の少人数学級編制に該当しない学年に1学級増を行い、市費採用の臨時講師を配置した。 少人数学級のための臨時講師 7校(川越第一中、初雁中、東中、砂中、大東西中、川越西中、山田中)、7名	臨時講師配置校数 17年度・・・5校 18年度・・・8校 19年度・・・8校 20年度・・・10校 21年度・・・5校 22年度・・・6校 23年度・・・9校 24年度・・・7校	H22	A	25,037	21,521	学校管理課
				H23	A	35,171	32,956				
				A	全市立小・中学校に、県費による指導方法工夫・改善に伴う加配教員が配置され、少人数指導やチーム・ティーチングによる、個に応じたよりきめ細かな指導を行った。	県費による指導方法工夫・改善加配教員配置 100%	H22	A	—	—	教育指導課
							H23	A	—	—	
							H24	A	—	—	
							H25		—	—	
							H26				
							計		130,204	81,046	
10	教育副読本の整備	継続		A	新学習指導要領の全面実施に対応し、地域や児童の実態を考慮した小学校3・4年生の社会科の副読本を整備した。	小学校32校へ配布	H22	A	4,710	4,002	教育指導課
							H23	A	4,820	3,876	
							H24	A	4,688	3,806	
							H25		4,708		
							H26				
							計		18,926	11,684	
11	中学生社会体験事業(2-(1)-2の再掲)	拡充		A	川越市中学生社会体験事業推進委員会での協議をもとに中学生が地域のなかで活動することにより多くの人々とのふれあいを通して社会性や自立心を育むことができた。「働くことへの大切さや意味を考える機会となった」や「仕事をするために周りの人と協力が大切なことを理解した」などAの判定をする生徒の数値が昨年度よりも増えている。	H22 ・参加生徒数 2,825名 ・協力事業所 のべ771事業所 H23 ・参加生徒数 2,941名 ・協力事業所 のべ828事業所 H24 ・参加生徒数 2,777名 ・協力事業所 のべ798事業所	H22	A	再掲	再掲	教育指導課
							H23	A	再掲	再掲	
							H24	A	再掲	再掲	
							H25		再掲		
							H26				
							計				
12	国際理解教育	継続		A	国際理解教育の推進・充実を図るため、指導力の向上を目指した研修会を実施した。	国際理解教育研修会年(小・中学校) H22 年4回 延べ173名参加 H23 年3回 延べ116名参加 H24 年3回 延べ109名参加	H22	A	50	40	教育センター (旧 教育研究所)
							H23	A	50	25	
							H24	A	35	38	
							H25		35		
							H26				
							計		170	103	

13	情報教育	継続		A	児童生徒の情報活用能力を育成するとともに、校務の効率化を図るため、情報機器操作能力の向上を目的とした教職員の研修会を実施した。 今年度も管理職対象の研修会や、地域の方々を対象にしたパソコン操作研修会を実施した。 リース期間終了の小学校6校の教育用コンピュータの更新及び小学校26校・中学校12校に電子黒板を各1台ずつ追加導入した。	やさしいパソコン操作研修会(ワープロ・表計算)パソコンプレゼンテーション研修会(基本・応用)パソコンホームページ研修会(作成・更新) 授業に役立つパソコン活用研修会(ICT・情報モラル)、初任者研修、5年経験者研修、管理職のためのICT研修会、情報化推進リーダー研修会 H23:研修会参加者延べ504名 地域対象研修会延べ35名 校務用プリンタ追加導入(小32校、中22校) 教育用コンピュータ更新校10校(中) H24研修会参加者延べ546名 地域対象研修会延べ13名 教育用コンピュータ更新6校(小) 電子黒板追加導入(小26校、中12校)	H22 A 119,704 115,665 H23 A 140,343 132,790 H24 A 131,979 104,714 H25 121,708 H26 計 513,734 353,169	教育センター (旧 教育研究所)
14	土曜子ども体験	継続	年22回	A	学校週5日制対応事業として、子どもに豊かな体験の場を提供するため、藍染めや鎧の着装、お正月飾りの作製等の体験を行った。毎月第二・三土曜日(8月を除く)を中心に実施した。24年度は、22回実施	H22 年21回 H23 年22回 H24 年22回	H22 A 60 60 H23 A 60 78 H24 A 78 96 H25 96 H26 計 294 234	博物館
15	子ども博物館教室	継続	年3回	A	子どもに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めるための学習に取り組んだ。天候もよく3回すべて実施することができた。	H22 年3回 H23 年2回 H24 年3回	H22 A 18 24 H23 A 12 12 H24 A 12 24 H25 24 H26 計 66 60	博物館
16	夏休み子ども体験	継続	年3回	A	夏季休業日を活用して学校教育と連動した学習の場として、ミニ灯笼作り、探検!となりのまちの博物館、ミニ縄文土器を作ろうを行った。3回実施	H22 年3回 H23 年3回 H24 年3回	H22 A 12 — H23 A 12 — H24 A 12 — H25 — H26 計 36 0	博物館
17	昔の遊び	継続	年2回	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にわなげやコマ回しやビーズを使ったアクセサリー作り等の体験を行った。 2回実施	H22 年2回 H23 年2回	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — H26 計 0 0	博物館
18	人権教育	継続		A	人権作文集「あけぼの」を毎年3、150部発行。 「いのち・こころを大切に作る絵画展」を3日間開催	H22 絵画展入場者数192人 H23 絵画展入場者数262人 H24 絵画展入場者数176人	H22 A 455 358 H23 A 286 265 H24 A 284 351 H25 285 H26 計 1,310 974	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)

19	人権啓発事業	継続	講演会参加者数 300人	A	講演会参加者数255名 啓発冊子等配布数1,490冊 啓発ビデオ貸出数18件 講演会実施回数1回 広報掲載回数4回 啓発用品の駅頭等配布数8,603個	講演会参加者数 H22:279名 H23:224名 H24:255名 啓発冊子等配布数 H22:1,416冊 H23:2,537冊 H24:1,490冊 啓発ビデオ貸出数 H22:61件 H23:43件 H24:18件 講演会実施回数 H22:1回 H23:1回 H24:1回 広報掲載回数 H22:12回 H23:12回 H24:4回 啓発用品の配布数 H22:6,421個 H23:6,636個 H24:8,603個	H22 A 1,654 1,090 H23 A 1,586 1,123 H24 A 1,912 1,587 H25 1,340 H26 計 6,492 3,800	人権推進課
20	学校部活動補助事業	継続		E	予算縮減のため、平成21年度で事業が終了しました。		H22 E — — H23 E — — H24 E — — H25 — — H26 計 0 0	教育指導課
21	公立学校施設の整備	拡充	公立学校施設の耐震化率 100%	A	耐震補強工事実施 校舎・体育館 1校 校舎 5校 耐震化率 100%	耐震補強工事実施 校舎・体育館 H22:2校 H23:2校 H24:1校 校舎 H22:3校 H23:9校 H24:5校 体育館 H22:16校 H23:4校 全体 229棟 内訳 新耐震基準及び耐震化済み等 229棟 耐震補強工事未実施 0棟	H22 A 6,154,393 2,749,817 H23 A 3,093,982 1,826,665 H24 A 503,060 387,011 H25 H26 計 9,751,435 4,963,493	教育財務課
22	育児関連講座	継続	10講座	A	子育て中の保護者を対象に、育児に関する情報・親子で楽しむプログラム・親子のふれあいを提供する講座を開催した。 8館、15講座 参加者延べ人数 1,126人	H22 7館、14講座 参加者延人数 1,392人 H23 7館、13講座 参加者延人数 1,265人 H24 8館、15講座 参加者延人数 1,126人	H22 A 365 500 H23 A 414 594 H24 A 322 442 H25 299 H26 計 1,400 1,536	中央公民館
23	幼保小連絡懇談会の実施	継続	小学校32校 幼稚園32園 保育園33園	A	「幼保小連携の在り方」をテーマに幼稚園・保育園・小学校の教職員の参加のもと幼保小連絡懇談会を開催した。	幼保小連絡懇談会 参加園・校数 H23 幼30園 保36園 小32校 H24 幼32園 保38園 小32校	H22 A 84 78 H23 A 84 85 H24 A 91 42 H25 6 H26 計 265 205	教育指導課

24	川越市子ども読書活動推進計画第2次の策定・推進	拡充		A	家庭向け読書活動啓発リーフレット「自ら本に手を伸ばす子に」を小学校新入学児童の保護者に保護者会の折に配布した。年1回の司書教諭研修会、年4回の図書整理員研修会を実施し、資質の向上を図った。		H22	A	—	—	教育指導課
							H23	A	—	—	
							H24	A	132	61	
							H25		132		
							H26				
							計		264	61	
25	学校図書館図書の整備	拡充	整備率 100%	B	「学校図書館図書標準」の達成に向け、計画的な図書購入及び廃棄に努めた。 小学校 78.0% 中学校 90.8%	図書標準達成率 H23 小学校74.8% 中学校85.7% (前年度より3ポイント程度上昇) H24 小学校 78.0%(+3.2) 中学校 90.8%(+5.1)	H22	B	31,606	30,453	教育指導課
							H23	B	31,916	30,617	
							H24	B	29,920	30,727	
							H25		30,650		
							H26				
							計		124,092	91,797	
26	小・中学生の読書活動の推進	継続	達成率 100%	A	読書習慣を形成するため、小学生対象の読書マラソンの実施、中学生対象の読書手帳の配布を行った。	H23 ・読書マラソン実施期間中(6月～2月)の市内児童平均読書冊数は52.5冊、昨年比+2.9冊 ・学校図書館平均貸出し冊数 小学校 21.8冊(昨年比 +0.6冊) 中学校 3.4冊(昨年比 +0.4冊) H24 ・読書マラソン実施期間中(6月～2月)の市内児童平均読書冊数は48.9冊、昨年比-3.6冊 ・学校図書館平均貸出し冊数 小学校 23.7冊(昨年比 +2.6冊) 中学校 5.0冊(昨年比 +1.6冊)	H22	A	318	280	教育指導課
							H23	A	318	318	
							H24	A	317	242	
							H25		318		
							H26				
							計		1,271	840	

【網掛】 重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

2-(3) 家庭や地域の教育力の向上

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	教育相談・就学相談事業	継続		A	相談者のニーズに応じて関係諸機関と連携し、臨床心理士のスーパーバイズを得ながら、より適切な相談活動を行うことができた。また、発達や就学に関する相談に応じた。 ・相談件数(延べ)3,224件 ・川越市就学支援委員会(委員25名)	H22 ・相談件数(延べ) 3,383件 ・川越市就学支援委員会(委員25名) H23 ・相談件数(延べ) 2,991件 ・川越市就学支援委員会(委員25名) H24 ・相談件数(延べ) 3,224件 ・川越市就学支援委員会(委員25名)	H22	A	2,485	2,179	教育センター (旧 教育研究所)
							H23	A	2,356	2,289	
							H24	A	2,071	2,676	
							H25		2,173		
							H26				
							計		9,085	7,144	
2	不登校児童生徒保護者セミナー	継続		A	不登校児童生徒の保護者を対象に、不登校理解のためのセミナーを実施し、相談に応じた。 ・3回実施	H22 3回実施 H23 3回実施 H24 3回実施	H22	A	—	—	教育センター (旧 教育研究所)
							H23	A	—	—	
							H24	A	—	—	
							H25		—	—	
							H26		—	—	
							計		0	0	

3	家庭教育学級	継続		A	市内小中学校54校のPTAに事業を委嘱し、それぞれのPTAが年5回以上の家庭教育学級を開講した。本事業により、家庭における教育力の充実に効果が見られた。	各PTA5回以上実施。 H22 273回 H23 271回(延べ回数) H24 273会(延べ回数)	H22	A	2,160	2,160	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
							H23	A	2,160	2,160	
							H24	A	2,160	2,160	
							H25		2,160		
							H26				
							計		8,640	6,480	
4	家庭教育講座	拡充	25講座	A	家庭の教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐむ親のための講座を開催した。 17公民館、29講座 参加者延人数 3,881人	H22 17公民館、32講座 参加者延人数 3,814人 H23 17公民館、28講座 参加者延人数 3,816人 H24 17公民館、29講座 参加者延人数 3,881人	H22	A	1,834	1,430	中央公民館
							H23	A	1,699	1,395	
							H24	A	1,822	1,401	
							H25		1,669		
							H26				
							計		7,024	4,226	
5	総合型地域スポーツクラブ	拡充	3クラブ 設置・育成	A	3クラブの設置。芳野スポーツクラブでは、自主的な運営を行い、13事業を行い537名の参加者を得た。川越公園クラブについては、充実した施設設備を活用して、クラブ事業、スクール事業を展開した。山田地区では創設支援事業を実施し、平成25年3月に『川越山田スポーツクラブ』として設立した。	H22 2クラブ H23 2クラブ H24 3クラブ	H22	B	250	250	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)
							H23	A	250	250	
							H24	A	750	500	
							H25		500		
							H26				
							計		1,750	1,000	
6	スポーツ少年団	継続		A	体育祭等における団交流、指導者や母集団を対象とした研修会の実施等を通してその資質能力の向上を図った。また、体カテスト会、体育祭、新春マラソンを開催し、子供たち個々の体力向上を図ることができた。	H22 体カテスト会1,146名 体育祭1,387名 新春マラソン1,059名 H23 体カテスト会1,161名 体育祭1,615名 新春マラソン1,163名 H24 体カテスト会1,271名 体育祭1,628名 新春マラソン1,252名	H22	A	—	—	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)
							H23	A	—	—	
							H24	A	—	—	
							H25		—	—	
							H26				
							計		0	0	
7	学校体育施設開放事業	継続		A	学校開放委員会を中心に小学校32校、中学校20校で体育施設開放を実施し、多くの地域住民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができた。この他、霞ヶ関北小のプール開放(6～9月)、牛子小・高階西小・福原小の学校プール開放(7月)を行った。	H22 学校体育施設開放参加者数396,728名。 霞ヶ関北小プール開放参加者数4,279名。山田小・南古谷小プール開放参加者数111名。 H23 学校体育施設開放参加者数402,752名。 霞ヶ関北小プール開放参加者数3,507名。牛子小・高階西小・芳野小プール開放参加者数186名。 H24 学校体育施設開放参加者数 407,529名。 霞ヶ関北小プール開放参加者数3,200名。牛子小・高階西小・福原小プール開放参加者数168名。	H22	A	13,583	12,036	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)
							H23	A	11,550	11,092	
							H24	A	11,480	10,469	
							H25		11,264		
							H26				
							計		47,877	33,597	

8	人材バンク	継続		A	地域子どもサポート事業では、各地区子どもサポート委員会が、人材確保のため、登録を行った。	H22 子どもサポート委員の人数 569人(前年比103.1%) H23 子どもサポート委員の人数 572人(前年比100.5%) H24 子どもサポート委員の人数 607人(前年比106.1%)	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
9	学生ボランティアの活用	継続		A	各地区の子どもサポート事業のなかで、学生ボランティアを活用した学習支援事業が行われた。	学生ボランティアを活用した学習支援事業の全事業数 H22 17事業 H24 17事業 H23 21事業 事業の参加者合計人数 H22 約600人 H24 1,018人 H23 815人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
10	エコチャレンジファミリー認定事業	継続	認定件数 1,540件 (H24までの 目標事業量)	A	・省エネナビコース:6件認定 ・簡易電力計コース:35件認定 ・省エネ家計簿コース:3件認定 ・省エネワークブックコース:55件認定 平成24年度までに、述べ1,263件の家族をエコチャレンジファミリーとして認定している。 震災の影響での電力不足による節電意識の高まりを受け、従来のコースを一時停止し、簡易電力計コースで利用しているワットチェッカーの貸出しに絞って事業を行った。	省エネナビコース(累計:129件認定) H22:9件認定 H23:0件認定 H24:6件認定 簡易電力計コース(累計:331件認定) H22:16件認定 H23:93件認定 H24:35件認定 省エネ家計簿コース(累計:91件認定) H22:5件認定 H23:0件認定 H24:3件認定 省エネワークブックコース(累計712件認定) H22:122件認定 H23:112件認定 H24:55件認定 ゴールド・エコチャレンジファミリー(累計:34件認定) H22:4件認定 H23:0件認定 H24:2件認定	H22 A 47 17 H23 A 75 60 H24 A 44 43 H25 27 H26 — — 計 193 120	環境政策課
11	市民環境調査	継続	開催回数 (年度):1回	A	「湧水めぐり」を実施した。 (1回実施。参加者数8人)	H22:1回実施 H23:1回実施 H24:1回実施	H22 A 74 61 H23 A 16 12 H24 A 65 41 H25 26 H26 — — 計 181 114	環境政策課

12	星空観察の集い	継続		A	夏期を8月に実施し(参加者数42人)、冬期を1月に実施した(参加者数21人)。	H22: 2回実施 H23: 2回実施 H24: 2回実施	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — —	58 58 58 47 —	52 24 39 — —	環境政策課
13	環境展inさんぱく	継続		A	環境関連企業、環境に配慮した取組を実施する企業、川越市環境部等が出展し、環境に配慮した商品やサービス、取組等を来場者にPRした。	参加者数 平成18年度623名 平成19年度284名 平成20年度786名 平成21年度765名 平成22年度台風により中止 平成23年度1,000名 平成24年度600名	H22 H23 H24 H25 H26 計	D A A — —	— — — — —	— — — — —	環境政策課
14	夏休み親子リサイクル体験ツアー	継続		A	名称を「夏休み親子リサイクル講座」に改め、内容をリニューアルしたものを実施。つばさ館でのリサイクル講座「割り箸鉄砲づくり講座」と「変わり絵ボックスづくり講座」を実施し2日で計24名参加。	【H21年度】2日で計43名参加。 【H22年度】2日で計26名参加。 【H23年度】東日本大震災により施設が一部破損したことや、節電対応のため、中止。	H22 H23 H24 H25 H26 計	A D A — —	6 2 0 0 —	6 — 0 — —	資源循環推進課
15	市民の森	継続		A	(1)維持管理 清掃業務委託(月3回)、除草業務委託(年2回)、剪定、枯損木処理(随時) (2)施設改修 第1号ほか1箇所整備工事	H22: 8箇所 H23: 8箇所 H24: 8箇所	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — —	7,836 7,127 6,111 5,687 —	6,834 6,314 6,070 — —	環境政策課
16	子どもエコクラブ	継続		A	8月に研修会(内容:川での伝統漁法の体験学習等)、2月に発表会(内容:1年間のクラブ活動を報告)を実施した。	H22: 2回実施 登録クラブ数 5クラブ・58会員 H23: 2回実施 登録クラブ数: 4クラブ・54会員 H22: 2回実施 登録クラブ数 5クラブ・58会員 H24: 2回実施 登録クラブ数: 4クラブ・192会員	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — —	111 93 114 109 —	49 95 67 — —	環境政策課
17	エコチャレンジスクール	継続		A	川越市内小・中・高・特別支援学校の全56校がエコチャレンジスクール認定校となり、各学校において工夫した取組を行った。実践報告書を作成し、市内各学校に配布した。	エコチャレンジスクール認定校 H22 認定申請校19校、継続更新校37校 H23 認定申請校19校、継続更新校37校 H24 認定申請校18校、継続更新校38校	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — —	165 120 53 35 —	35 34 34 — —	教育センター (旧 教育研究所)

(3)基本目標3 子育ての喜びを実感し、子どもとともに成長できる機会の充実

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

3-(1) 親の学びの機会の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	両親学級 (1-(1)-13の再掲)	拡充		A	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援した。	プレパパママスクール H22: 5回 102組 200人 (夫再掲 98人) H23: 6回 129組 257人 (夫再掲126人) H24: 6回 129組257人 (夫再掲127人)	H22	A	再掲	再掲	健康づくり支援課
							H23	A	再掲	再掲	
							H24	A	再掲	再掲	
							H25		再掲		
							H26				
							計				
2	育児関連講座 (2-(2)-22の再掲)	継続	10講座	A	子育て中の保護者を対象に、育児に関する情報・親子で楽しむプログラム・親子のふれあいを提供する講座を開催した。 8館、15講座 参加者延べ人数 1,126人	H22 7館、14講座 参加者延人数 1,392人 H23 7館、13講座 参加者延人数 1,265人 H24 8館、15講座 参加者延人数 1,126人	H22	A	再掲	再掲	中央公民館
							H23	A	再掲	再掲	
							H24	A	再掲	再掲	
							H25		再掲		
							H26				
							計				
3	家庭教育講座 (2-(3)-4の再掲)	拡充	25講座	A	家庭教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催した。 17公民館、29講座 参加者延人数 3,881人	H22 17公民館、32講座 参加者延人数 3,814人 H23 17公民館、28講座 参加者延人数 3,816人 H24 17公民館、29講座 参加者延人数 3,881人	H22	A	再掲	再掲	中央公民館
							H23	A	再掲	再掲	
							H24	A	再掲	再掲	
							H25		再掲		
							H26				
							計				
4	市民との協働による父親育児講座	新規	参加者数 年30組	A	市民活動団体との協働委託事業により、子育て中の父親を対象に子育ての楽しさを実感し、育児への関心を高めるとともに、父親の育児参加を促進するため、具体的に活用できる講座を実施 ・防災学 アウトドア流の命を守るための危機管理方法や、古武術を活用した救出法など、自分と家族を守る防災術を学ぶ。 ・誕生学 赤ちゃんがどのように母親のお腹の中で過ごし、誕生日にどんな力を発揮して生まれてきたかなど、命の大切さを学ぶ。	H22: 2日間で延べ26組、73人の参加 H23: 2日間で延べ22組、38人の参加 H24: 2日間で延べ32組、73人の参加	H22	A	66	66	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)
							H23	A	66	66	
							H24	A	66	66	
							H25		—		
							H26				
							計		198	198	

【網 掛 け】 重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

3-(2) 親の社会参画の機会の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	地域子育て支援拠点事業 (5-(1)-5に掲載)	拡充	25箇所	B	子育て親子の交流の場の提供。育児相談。子育て講座の開催。 子育て情報の提供。【14箇所】 ※公立の地域子育て支援センター(1箇所)は公民館、公園等への出張支援も行っている。	H22 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人6箇所) 計10箇所を実施。 H23 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人9箇所) 計13箇所を実施。 H24 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人10箇所) 計14箇所を実施。	H22 H23 H24 H25 H26 計	B B B 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	こども育成課(H24年度 まで:保育課)
2	家庭教育学級 (2-(3)-3の再掲)	継続		A	市内小中学校54校のPTAに事業を委嘱し、それぞれのPTAが年5回以上の家庭教育学級を開講した。 本事業により、家庭における教育力の充実に効果が見られた。	各PTA5回以上実施 H22 273回 H23 271回(延べ回数) H24 273回(延べ回数)	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
3	イベント等への参加促進	拡充		B	各課へイベント等の際の託児についての配慮を文書で通知した。 子育て支援課において実施した会議等の通知文には、託児の案内を明記し、希望者には託児を実施して、子育て中の親の参加を促進した。	子育て支援課の会議 H22:託児7回実施 H23:託児4回実施 H24:託児3回実施	H22 H23 H24 H25 H26 計	B B B — —	— — — —	— — — 0 0	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)

(4)基本目標4 仕事と子育ての両立を支援する施策の充実

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

4-1) 多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直し

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	ワークライフバランスの 推進・啓発	拡充	セミナー年2 回 就業規則等で 育児休業制度 を規定してい る割合 70%	A	一般事業主連絡会において仕事と家庭の両立を推進するための セミナーを行った。「子育て世代の働き方」「次世代育成支援対策 推進法について」	H22 次世代育成支援セミナーと労働法セミナー を開催 参加者57名 H23 両立支援セミナー 24名 労働学院 40名 H24 仕事と家庭の両立を推進するためのセミ ナー 参加者 32名	H22	A	52	51	雇用支援課
							H23	A	52	50	
							H24	A	50	0	
							H25		50		
		H26									
		計		204	101						
A	・H25年1月に企業啓発研修:「子育て世代の働き方」を雇用支援 課及び子育て支援課と共催し、事業主や人事労務担当者に対し 次世代支援育成に関するセミナーを行うことができた。 ・H25年2月に男女共同参画職員研修:「仕事と家庭の調和の実践 について」を職員課と共催し、職員に対して男女共同参画意識を 高めるための講演会を行った。	H22 ・企業啓発研修参加者 10社 ・職員研修参加者 81名 H23 ・企業啓発研修参加者 11社 ・職員研修参加者 86名 H24 ・企業啓発研修参加者 8社 ・職員研修参加者 78名	H22	A	30	30	男女共同参画課				
			H23	A	15	27					
			H24	A	15	15					
			H25		15						
		H26									
		計		75	72						
B	・株式会社埼玉りそな銀行との共催により、事業主や人事労務担 当者等のほか、興味のある方を対象に、多様な働き方のできる 雇用や職場環境づくりについての「仕事と家庭の両立を推進す るためのセミナー」を実施した。「子育て世代の働き方」について の講演と、「次世代育成支援対策推進法について」の説明を行った。	H22: セミナー1回 参加者数26名 H23: セミナー1回 参加者数24名 H24: セミナー1回 参加者数32名	H22	B	10	—	こども政策課 (H24年度まで:子育て支 援課)				
			H23	B	10	—					
			H24	B	10	11					
			H25		10						
		H26									
		計		40	11						
B	特定事業主行動計画について、課長級に昇任した職員を対象に 説明会を実施し、職員の仕事と子育ての両立支援に関する意識 啓発を行った。	H22: 研修1回(8/3) 参加人数37人 H23: 研修1回(8/2) 参加人数18人 H24: 研修1回(7/18) 参加人数17人	H22	B	—	—	職員課				
			H23	B	—	—					
			H24	B	—	—					
			H25		—						
		H26									
		計		0	0						
2	ハローワーク求人情報 の提供	継続	提供箇所数 15箇所	A	ハローワーク川越求人情報を本庁、出張所、南連絡所、サンライ フ川越で配布し、市ホームページに掲載し毎週更新して提供した。	H22: 15箇所にて配布 H23: 15箇所にて配布 H24: 15箇所にて配布	H22	A	—	—	雇用支援課
							H23	A	—	—	
							H24	A	—	0	
							H25		—		
		H26									
		計		0	0						

3	求職相談	継続	相談件数 年200件	A	10月に川越しごと支援センターを開所し、ハローワーク川越の職業相談・職業紹介およびしごと相談員によるしごと相談、県キャリアセンターランチ・ジョブナビゲーションのキャリアカウンセリング・心理カウンセリングを実施し、広く相談に応じられる体制とした。	H22 ・しごと相談 80件 ・団塊世代第2ステージ相談 9件 ・キャリア・心理カウンセリング176件 H23 ・しごと相談 115件 ・団塊世代第2ステージ相談 6件 ・キャリア・心理カウンセリング216件 H24 ・川越しごと支援センター利用者 延4,345人 ・しごと相談 254件 ・キャリア・心理カウンセリング209件	H22 A 2,140 2,130 H23 A 2,256 2,276 H24 A 2,738 2,008 H25 4,080 H26 計 11,214 6,414	雇用支援課
4	就労支援事業	継続	講座開催 年12回	A	川越しごと支援センターにおいて、就職活動に役立つ基本的な知識や応募書類・面接などの実践や、就労に必要なスキルを身につけるセミナーを開催した。 ・再就職支援セミナーI、II ・中高年のための就職セミナー ・就職力アップセミナー ・パソコンスキルアップセミナー ・介護の仕事入門講座 ・ランチ・ジョブナビセミナー ・保護者のための「わが子」の自立支援セミナー ・中高年就職支援セミナー	・H22 6事業28回 延べ受講者245人 ・H23 8事業29回 延べ受講者367人 ・H24 9事業38回 延べ受講者669人	H22 A 936 715 H23 A 950 764 H24 A 1,711 1,503 H25 2,500 H26 計 6,097 2,982	雇用支援課
5	就職面接会	継続	開催数 年2回	A	ハローワーク、近隣市町と共催で若者就職面接会、障害者就職面接会を実施した。	・H22 3回実施 参加求職者456人 ・H23 3回実施 参加求職者431人 ・H24 3回実施 参加求職者444人	H22 A 400 296 H23 A 400 347 H24 A 368 304 H25 330 H26 計 1,498 947	雇用支援課
6	労働基本調査	継続		A	川越市内の事業所の雇用・労働状況を把握するため調査を実施した。(4年に1回実施)	市内の従業員数5名以上の2000事業所を抽出して調査を実施した。	H22 D — — H23 D — — H24 A 0 3,690 H25 — H26 計 0 3,690	雇用支援課
7	労働相談	継続	開催数 年12回	A	勤労者、事業主双方を対象として社会保険労務士による労働相談を実施した。	・H22 開催回数 17回 相談14件 ・H23 開催回数 18回 相談6件 ・H24 開催回数 12回 相談6件	H22 A 192 180 H23 A 192 192 H24 A 120 120 H25 120 H26 計 624 492	雇用支援課

8	一般事業主との連絡会	拡充	参加企業数 年50社	B	・株式会社埼玉りそな銀行との共催により、事業主や人事労務担当者等のほか、興味のある方を対象に、多様な働き方のできる雇用や職場環境づくりについての「仕事と家庭の両立を推進するためのセミナー」を実施した。「子育て世代の働き方」についての講演と、「次世代育成支援対策推進法について」の説明を行った。	H22:参加企業数10社 参加者数26名 H23:参加企業数11社 参加者数24名 H24:参加企業数8社 参加者数32名	H22 B — — H23 B — — H24 B — — H25 — — H26 — — 計 0 0	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)
9	女性の就労支援事業	継続		A	女性の就労支援や資格取得を目標とした講座を実施する。 ・宅建基礎講座 23回 延べ423名 ・日商簿記3級講座 20回 延べ302名 ・医療事務講座 20回 延べ322名 ・介護事務講座 13回 延べ308名 ・調剤事務講座 8回 延べ78名 ・FP技能士3級講座 4回102名	H22 受講者数 述べ2,401名 H23 受講者数 述べ1,903名 H24 受講者数 述べ1,535名	H22 A 8,096 7,698 H23 A 8,093 7,471 H24 A 7,292 7,086 H25 7,297 H26 計 30,778 22,255	女性会館
10	特定事業主行動計画	新規		A	特定事業主行動計画の後期計画「次世代育成支援のプログラムⅡ～仕事と子育ての両立支援～」の実施状況を全所属へ通知し、その中で育児参加休暇等を取得した男性職員の声を紹介するなど制度周知を行った。また、全職員へ休暇等ハンドブックを配布した。	H22: 出産補助休暇96.3%・育児参加休暇59.3%・年休(1人当たり)14.1日 H23: 出産補助休暇93.6%・育児参加休暇57.4%・年休(1人当たり)14.5日。育児休暇を取得した男性職員の体験談を周知した。 H24: 現時点では未集計	H22 B — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	職員課
11	母子家庭等就業・自立支援センター事業 (6-(2)-8に掲載)	新規	延べ利用者数 300人/年	A	託児付きの就労支援セミナーやパソコン講座を開催することにより、就労面から母子家庭の自立を支援した。また、併せて就労に関する相談を受け付けた。 セミナー 15人 パソコン講座 22人 就労相談 287人	セミナー パソコン講座 就労相談 H22 13人 24人 323人 H23 8人 23人 319人 H24 15人 22人 287人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
12	母子自立支援プログラム策定事業 (6-(2)-11に掲載)	新規	プログラム策定件数 40件/年	A	児童扶養手当受給者を対象に、自立を促進するための自立支援プログラムを策定し、きめ細やかで継続的な就労支援を行った。 プログラム策定件数 15件	H22 プログラム策定件数 39件 H23 プログラム策定件数 40件 H24 プログラム策定件数 15件	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

4-(2) 仕事と子育ての両立の推進

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	ファミリー・サポート・センター事業 (5-(1)-7に掲載)	拡充	2箇所	B	設置箇所数 1箇所 依頼会員 1,404人 提供会員 535人 依頼提供会員 79人 活動件数 7,688件	H22 依頼会員 1,186人 提供会員 436人 依頼提供会員 67人 H23 依頼会員 1,282人 提供会員 491人 依頼提供会員 74人 H24 依頼会員 1,404人 提供会員 535人 依頼提供会員 79人	H22 B 再掲 再掲 H23 B 再掲 再掲 H24 B 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計			こども育成課 (H24年度まで:保育課)	
2	学童保育事業 (5-(1)-1に掲載)	拡充		A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で保育した。【1,916人】	年度当初入室児童数 平成21年度 1,941人 平成22年度 1,906人 平成23年度 1,902人 平成24年度 1,916人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計			教育財務課	
3	病児・病後児保育事業 (5-(1)-3に掲載)	拡充	13箇所	C	病児・病後児保育として、2施設にて事業を実施。1施設定員3名。【2箇所・6人】	H22【1箇所・3人】 H23【2箇所・6人】 H24【2箇所・6人】	H22 C 再掲 再掲 H23 C 再掲 再掲 H24 C 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計			こども育成課 (H24年度まで:保育課)	
4	一時的(特定)保育事業 (5-(1)-4に掲載)	拡充		C	公立保育園5園、法人保育園9園で実施。 【14箇所・7,275人】	H22 13箇所・5,876人 H23 13箇所・6,080人 H24 14箇所・7,275人	H22 C 再掲 再掲 H23 C 再掲 再掲 H24 C 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計			保育課	
5	法人立保育所への支援 (5-(2)-7に掲載)	拡充		A	民間保育所の運営の充実を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成している。	H22 13園で実施 H23 17園で実施 H24 18園で実施	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計			保育課	

6	家庭保育室委託事業 (5-(2)-8に掲載)	拡充	B	市内の家庭保育室22箇所と家庭保育委託契約を締結し、保育に欠ける乳幼児の保育を委託している。	委託施設数 H23 市内21箇所 市外19箇所 H24 市内22箇所 市外22箇所 委託児童数 H23 市内2,972人 市外329人 H24 市内3,538人 市外274人	H22 B 再掲 再掲 H23 B 再掲 再掲 H24 B 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	保育課
7	認可外保育施設への 助成制度 (5-(2)-9に掲載)	拡充	C	障害児の保育については助成を実施 その他の助成については調査、研究を行っている。		H22 C 再掲 再掲 H23 C 再掲 再掲 H24 C 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	保育課
8	認可外保育施設等の 認可化支援 (5-(2)-10に掲載)	継続	D	事業なし		H22 D 再掲 再掲 H23 D 再掲 再掲 H24 D 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	保育課
9	幼稚園での預かり保育 事業 (5-(2)-11に掲載)	継続	A	(人数割 (1日平均人数四捨五入済)) 1歳未満児 480,000×1人=480,000円 1~2歳児 300,000×65人=19,500,000円 3歳以上 170,000×441人=74,970,000円 長期休業加算 30園×300,000=9,000,000円 施設経費補助 30園×400,000=12,000,000円	補助対象園児数 H18 366人 H19 396人 H20 409人 H21 410人 H22 424人 H23 468人 H24 507人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 H26 計 0 0	こども政策課 (H24年度まで:保育課)
10	男女共同参画の促進	新規	A	市民との協働委託事業として、情報紙(イーブン)を年2回各5,000部発行した。	H22 第32号、第33号 各5,000部発行 H23 第34号、第35号 各5,000部発行 H24 第36号、第37号 各5,000部発行	H22 A 607 607 H23 A 620 620 H24 A 610 610 H25 610 H26 計 2,447 1,837	男女共同参画課
			A	女性の社会参画を促進するため、就労支援や資格取得を目標とした各種講座を実施した。 また、国・県と協力して各種セミナーの案内や育児休業等のリーフレットを配布した。	H22 受講者数 述べ2,401名 H23 受講者数 述べ1,903名 H24 受講者数 述べ1,535名	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 H26 計 0 0	女性会館

11	両親学級 (1-(1)-13の再掲)	拡充		A	妊婦とその夫を対象に育児、栄養、歯科についての正しい知識を普及し、妊娠中の不安の解消と父親の育児参加を支援した。	プレパパママスクール H22: 5回 102組 200人 (夫再掲 98人) H23: 6回 129組 257人 (夫再掲126人) H24: 6回 129組257人 (夫再掲127人)	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	健康づくり支援課
12	家庭教育講座 (2-(3)-4の再掲)	拡充	25講座	A	家庭の教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐむ親のための講座を開催した。 17公民館、29講座 参加者延人数 3,881人	H22 17公民館、32講座 参加者延人数 3,814人 H23 17公民館、28講座 参加者延人数 3,816人 H24 17公民館、29講座 参加者延人数 3,881人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	中央公民館
13	市民との協働による父親育児講座 (3-(1)-4の再掲)	新規	参加者数 年30組	A	市民活動団体との協働委託事業により、子育て中の父親を対象に子育ての楽しさを実感し、育児への関心を高めるとともに、父親の育児参加を促進するため、具体的に活用できる講座を実施 ・防災学 アウトドア流の命を守るための危機管理方法や、古武術を活用した救出法など、自分と家族を守る防災術を学ぶ。 ・誕生学 赤ちゃんがどのように母親のお腹の中で過ごし、誕生日にどんな力を発揮して生まれてきたかなど、命の大切さを学ぶ。	H22: 2日間で延べ26組、73人の参加 H23: 2日間で延べ22組、38人の参加 H24: 2日間で延べ32組、73人の参加	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)

(5)基本目標5 子育てを地域で支える仕組づくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

5-(1) 地域における子育て支援サービスの充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	学童保育事業	拡充	2,251人	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている児童を、市内32学童保育室で保育した。【1,916人】	年度当初入室児童数 平成21年度 1,941人 平成22年度 1,906人 平成23年度 1,902人 平成24年度 1,916人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 510,402	433,887 432,038 472,157 510,402	426,872 426,057 463,200 1,316,129	教育財務課
2	学童保育室施設整備事業	新規		A	唯一小学校敷地外に設置されていた高階南学童保育室の高階南小学校内への移転工事を行った。 建設から30年以上経過し老朽化している高階西学童保育室の改築工事設計を行った。	H22 2学童整備 H23 1学童工事設計 H24 1学童移転工事、1学童工事設計	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 510,402	433,887 432,038 472,157 510,402	426,872 426,057 463,200 1,316,129	教育財務課
3	病児・病後児保育事業	拡充	13箇所	C	病児・病後児保育として、新たに1施設(定員:3人)を増設したことにより、2施設にて事業を実施。 【2箇所・6人】	H22【1箇所・3人】 H23【2箇所・6人】 H24【2箇所・6人】	H22 H23 H24 H25 H26 計	C C C 19,318	9,692 15,516 19,318 19,314	9,600 13,400 19,200 42,200	こども育成課 (H24年度まで:保育課)
4	一時的(特定)保育事業	拡充	50箇所 150,000人	C	公立保育園5園、法人保育園9園で実施。 【14箇所・7,275人】	H22 13箇所・5,876人 H23 13箇所・6,080人 H24 14箇所・7,275人	H22 H23 H24 H25 H26 計	C C C —	— — — —	— — — 0	保育課
5	地域子育て支援拠点事業	拡充	25箇所	B	子育て親子の交流の場の提供。育児相談。子育て講座の開催。 子育て情報の提供。 ※子育て支援センター3箇所は公民館、公園等への出張支援も行っている。 【14箇所】	H22 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人6箇所) 計10箇所を実施。 H23 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人9箇所) 計13箇所を実施。 H24 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人10箇所) 計14箇所を実施。	H22 H23 H24 H25 H26 計	B B B 90,246	— — 4,997 90,246	— — 4,866 4,866	こども育成課 (H24年度まで:保育課)

6	保育所による地域子育て支援事業	拡充		A	地域の親子へ園行事への参加の呼びかけ。園庭開放。育児サークル支援。 【38箇所】	H22 公立20園 法人13園 計33園で実施。 H23 公立20園 法人17園 計37園で実施。 H24 公立20園 法人18園 計38園で実施。	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育課
7	ファミリー・サポート・センター事業	拡充	2箇所	B	設置箇所数 1箇所 依頼会員 1,404人 提供会員 535人 依頼提供会員 79人 活動件数 7,688件	H22 依頼会員 1,186人 提供会員 436人 依頼提供会員 67人 H23 依頼会員 1,282人 提供会員 491人 依頼提供会員 74人 H24 依頼会員 1,404人 提供会員 535人 依頼提供会員 79人	H22 B 12,142 11,295 H23 B 12,151 12,089 H24 B 12,111 11,807 H25 12,178 H26 — — 計 48,582 35,191	こども育成課 (H24年度まで:保育課)
8	ショートステイ事業	新規	1箇所	D	未実施	H23 未実施 H24 未実施	H22 D — — H23 D — — H24 D — — H25 5,004 H26 — — 計 5,004 0	こども育成課 (H24年度まで:子育て支援課)
9	パパ・ママ応援ショップ事業	新規	市内協賛店舗・施設数 350箇所	A	中学生までの子どもまたは妊娠中の方がいる家庭を応援するため、店舗等で割引などのサービスが受けられる応援ショップ事業を埼玉県と共同して実施した。 チラシやHP等で事業の周知を図り、優待カードを母子手帳交付時、未就学児のいる世帯の県外からの転入手続き時に配布した。 市内協賛店舗・施設数 751箇所	市内協賛店舗・施設数 H22 540箇所 H23 596箇所 H24 751箇所	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	こども育成課 (H24年度まで:子育て支援課)
10	総合支援窓口	新規		A	市民のニーズに応じて必要とするサービス提供主体への連絡等をおこなった。 また、子育て情報コーナー等の充実や、市のHP及びモバイルサイトの「子育て支援のページ」を整備して知りたい情報を簡単に取得できるように努めるとともに、メール配信サービスで登録者が必要とする情報を積極的に配信した。 登録件数1,031件。	H20年1月 総合支援窓口設置 H23年11月 埼玉県地域子育て応援タウン認定 メール配信登録件数 H22 800件 H23 978件 H24 1,031件	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

5-(2) 保育サービスの充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	通常保育事業	拡充	3,840人	C	公立保育所20園、定員1,830人 法人保育所18園、定員1,311人 【3,141人】	H22 2,705人 H23 3,081人 H24 3,141人	H22 C — — H23 C — — H24 C — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育課			
2	延長保育事業	拡充	40箇所 2,040人	A	全20箇所の公立保育所において、1時間(高階保育園では2時間)の延長保育を実施。民間保育所においては、全18箇所を実施。実施園については所要額を助成。 【38箇所・1,464人】 ※人数は民間保育所を除いたもの。	H22 33箇所・1,312人 H23 37箇所・1,301人 H24 38箇所・1,464人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育課			
3	統合保育事業	拡充		A	障害児及び健常児の成長と発達を促進するため、保育所において統合保育を実施している。	平成22年4月時 73人実施 平成23年4月時 73人実施 平成24年4月時 74人実施	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育課			
4	土曜保育事業	拡充		A	平成22年4月から、名細保育園、高階第三保育園、南古谷第二保育園において事業を開始したことにより、公立保育園10園で、土曜日の一日保育を実施した。	H22、H23、H24 名細第二、中央、脇田新町、高階第二、仙波町、神明町、霞ヶ関第二、名細、高階第三、南古谷第二保育園の10園で実施。	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育課			
5	産休明け保育事業	拡充		D	公立保育園で産休明け保育を試行的に実施するため、実施園の候補を挙げた。		H22 D — — H23 D — — H24 D — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育課			
6	公立保育所の運営方法の検討	拡充		D	近年における保育情勢、他市の民営化に係る状況等をもとに、調査研究をしている。		H22 D — — H23 D — — H24 D — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育課			

7	法人立保育所への支援	拡充	A	民間保育所の運営の充実を図るため、各種事業等の実施に係る経費を助成している。	H22 13園で実施 H23 17園で実施 H24 18園で実施	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — 0	— — — — — 0	— — — — — 0	保育課
8	家庭保育室委託事業	拡充	B	市内の家庭保育室22箇所と家庭保育委託契約を締結し、保育に欠ける乳幼児の保育を委託している。	委託施設数 H23 市内21箇所 市外19箇所 H24 市内22箇所 市外22箇所 委託児童数 H23 市内2,972人 市外329人 H24 市内3,538人 市外274人	H22 H23 H24 H25 H26 計	B B B — — 849,411	208,009 201,500 227,082 212,820 — 633,065	207,471 198,512 227,082 — — —	保育課
9	認可外保育施設への助成制度	拡充	C	障害児の保育については助成を実施 その他の助成については調査、研究を行っている。		H22 H23 H24 H25 H26 計	C C C — — 0	— — — — — 0	— — — — — 0	保育課
10	認可外保育施設等の認可化支援	継続	D	事業なし		H22 H23 H24 H25 H26 計	D D D — — 0	— — — — — 0	— — — — — 0	保育課
11	幼稚園での預かり保育事業	継続	A	(人数割 (1日平均人数四捨五入済)) 1歳未満児 480,000×1人=480,000円 1~2歳児 300,000×65人=19,500,000円 3歳以上 170,000×441人=74,970,000円 長期休業加算 30園×300,000=9,000,000円 施設経費補助 30園×400,000=12,000,000円	補助対象園児数 H19 396人 H20 409人 H21 410人 H22 424人 H23 468人 H24 507人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — 436,282	105,000 99,930 117,940 113,412 — 325,190	100,750 108,490 115,950 — — —	こども政策課 (H24年度まで:保育課)
12	保育士研修	拡充	A	公立・法人・家庭保育室の保育士の研修を実施 市主催の保育園職員研修年4回公立1,532人・私立317人 <テーマ別の研修状況> ・乳幼児保育研修 92回 参加者 2,223人 ・障害児保育研修 49回 参加者 331人 ・子どもの病氣予防救急法の研修 22回 参加者 229人 ・食育に関する研修 84回 参加者 643人 ・心とからだの発達に関する研修 55回 参加者 474人 ・各年齢別研究会での学習会 47回 参加者 880人 その他研修会 108回 参加者 634人	H19 228回 3,141人 H20 256回 3,664人 H21 311回 3,065人 H22 462回 5,401人 H23 410回 5,154人 H24 457回 5,414人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — 9,444	2,361 2,361 2,361 2,361 — 6,305	2,112 1,738 2,455 — — —	保育課

13	保育サービス評価の仕組の導入検討	拡充		C	平成22年度に引き続き公立園及び法人園で実施ができなかった。	H18 高階保育園 H19 中央保育園 H20 仙波町保育園 H21 名細保育園 H22 - H23 -	H22 C — — H23 C — — H24 C — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育課
14	認定こども園	新規		D	施設設置に向けての相談業務を実施。助成制度について研究を行っている。		H22 D — — H23 D — — H24 D — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育課
15	家庭的保育事業(保育ママ)	新規	30人	C	他市の状況を調査研究する。		H22 C — — H23 C — — H24 C — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育課
16	トワイライトステイ事業	新規	5人・1箇所	A	保護者が仕事等の理由により、平日の夜間に家庭において養育することが困難な児童を実施施設において保護し、食事の提供等を行った。	H23 利用世帯 3世帯4人 利用者数 述べ55人 ※H23年度は8月から実施 H24 利用世帯 8世帯14人 利用者数 延べ202人	H22 D — — H23 A 3,199 1,019 H24 A 3,024 2,331 H25 2,741 — — H26 — — 計 8,964 3,350	こども育成課 (H24年度まで:子育て支援課)
17	休日保育事業	新規	180人・3箇所	D	近隣市の実施状況・保育料等について調査するとともに、実施について検討している。		H22 D — — H23 D — — H24 D — — H25 — — H26 — — 計 0 0	保育課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

5-(3) 子どもの健全育成の取組

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	子どもに関する条例又は宣言等	継続		C	関係課で、子ども条例制定の必要性や方向性について協議した。	H23 検討会議1回 H24 検討会議1回	H22	C	—	—	こども政策課 こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
							H23	C	—	—	
							H24	C	—	—	
							H25	—	—		
		H26	—	—			計	0	0		
		C		関係課で、子ども条例制定の必要性や方向性について協議した。			H22	C	—	—	人権推進課
		H23	C	—	—						
		H24	C	—	—						
		H25	—	—			H26	—	—		
		計	0	0							
		C		具体的な取り組みの骨子が未定である。			H22	C	—	—	こども育成課 (H24年度まで:青少年課)
		H23	C	—	—						
		H24	C	—	—						
		H25	—	—			H26	—	—		
		計	0	0							
		C		具体的な取り組みの骨子が未定である。			H22	C	—	—	教育指導課
		H23	C	—	—						
		H24	C	—	—						
		H25	—	—			H26	—	—		
		計	0	0							
2	人権保育	継続		A	川越市人権保育推進委員会に対する助成を行うとともに、保育所において人権保育を推進している。	公立保育園20園で実施。	H22	A	450	491	保育課
							H23	A	720	608	
							H24	A	450	535	
							H25		720		
							H26				
							計		2,340	1,634	

3	子ども手当	新規	A	法律に基づき、適切に子ども手当の支給、管理を行った。 総支給額 1,028,794,000円 延児童数 91,418人	H22:総支給額 5,581,439,000円 延児童数 429,343人 H23:総支給額 6,436,314,000円 延児童数 518,254人 H24:総支給額 1,028,794,000円 延児童数 91,418人	H22	A	5,595,364	5,581,439	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)
	(児童手当)	新規	A	法律に基づき、適切に子ども手当の支給、管理を行った。 総支給額 4,718,355,000円 延児童数 429,824人	H24:総支給額 4,718,355,000円 延児童数 429,824人	H22	-	-	-	
4	幼稚園就園奨励費	拡充	A	国庫補助対象者の他、国庫補助対象外の方についても継続して市単独での補助を実施している。	H22 決算額481,084千円 支給対象園児数6,140人 H23 決算額501,208千円 支給対象園児数6,175人 H24 決算額518,074千円 支給対象園児数6,372人	H22	A	485,995	481,084	こども政策課 (H24年度まで:教育財務課)
	スポーツ少年団 (2-(3)-6の再掲)	継続	A	体育祭等における団交流、指導者や母集団を対象とした研修会の実施等を通してその資質能力の向上を図った。また、体カテスト会、体育祭、新春マラソンを開催し、子供たち個々の体力向上を図ることができた。	H22 体カテスト会1,146名 体育祭1,387名 新春マラソン1,059名 H23 体カテスト会1,161名 体育祭1,615名 新春マラソン1,163名 H24 体カテスト会1,271名 体育祭1,628名 新春マラソン1,252名	H22	A	再掲	再掲	
6	学校体育施設開放事業 (2-(3)-7の再掲)	継続	A	学校開放委員会を中心に小学校32校、中学校20校で体育施設開放を実施し、多くの地域住民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しむことができた。この他、霞ヶ関北小のプール開放(6~9月)、牛子小・高階西小・福原小の学校プール開放(7月)を行った。	H22 学校体育施設開放参加者数396,728名。 霞ヶ関北小プール開放参加者数4,279名。山田小・南古谷小プール開放参加者数111名。 H23 学校体育施設開放参加者数402,752名。 霞ヶ関北小プール開放参加者数3,507名。牛子小・高階西小・芳野小プール開放参加者数186名。 H24 学校体育施設開放参加者数407,529名。 霞ヶ関北小プール開放参加者数3,200名。牛子小・高階西小・福原小プール開放参加者数168名。	H22	A	再掲	再掲	スポーツ振興課 (旧 市民スポーツ課)
	地域組織活動への研修	継続	A	保健推進員に対して、乳幼児の事故防止の研修を実施。	H23 保健推進員ブロック会議3回 85人 H24 保健推進員ブロック会議3回 90人	H22	C	-	-	
						H23	A	-	-	
						H24	A	-	-	
						H25	-	-	-	
						H26	-	-	-	
						計		0	0	

8	児童館	継続		B	新たな公共施設の整備に合わせ、複合施設として児童館機能の導入について検討した。また、既存の公民館などの活用や、市民ボランティア等の理解や協力を得た、子どもの居場所づくりを推進してきた。	直近では、平成20年5月に高階市民センター内に高階児童館がオープンした。	H22 H23 H24 H25 H26 計	D D B — — 0	— — — — — 0	— — — — — 0	— — — — — 0	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)
9	児童遊園	継続		A	市内161箇所の児童遊園について、平成23年度に実施した安全点検等に基づき、遊具の修繕を行う。 ・遊具の修繕等 延べ85箇所	遊具の修繕等 H22 延べ81箇所 H23 延べ64箇所 H24 延べ85箇所	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — 91,666	38,122 9,902 22,444 21,198 — 91,666	23,497 22,281 21,737 — — 67,515	— — — — — —	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)
10	児童館機能の整備 (児童センター子どもの城)	拡充		A	開館日数 308日 利用者数 72,693人 【内訳】個人利用 44,670人、団体利用 501人、集団指導22,700人、プラネタリウム 4,608人、天体観測 214人 【実施事業及び参加者数】乳幼児と保護者対象237回10,952人、学童対象154回2,232人、児童対象416回9,516人	H22 開館日数 308日 利用者数 52,418人 H23 開館日数 240日 利用者数 52,997人 H24 開館日数 308日 利用者数 72,693人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — 178,337	48,075 44,368 42,445 43,449 — 178,337	39,242 40,112 42,138 — — 121,492	— — — — — —	こども育成課 (H24年度まで：青少年課)
児童館機能の整備 (川越駅東口児童館)	A			開館日数 308日 利用者数 53,726人 【内訳】個人利用41,545人、団体利用0人、集団指導12,181人 【実施事業及び参加者数】乳幼児と保護者対象179回10,993人、学童対象98回672人、児童対象13回516人	H22 開館日数 307日 利用者数 46,571人 H23 開館日数 309日 利用者数 50,923人 H24 開館日数 308日 利用者数 53,726人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — 67,518	15,936 17,336 14,812 19,434 — 67,518	9,743 13,231 14,084 — — 37,058	— — — — — —		
児童館機能の整備 (高階児童館)	A			開館日数 308日 利用者数 49,117人 【内訳】個人利用38,547人、団体利用 0人、集団指導 10,570人 【実施事業及び参加者数】乳幼児と保護者対象159回9,393人、学童対象14回 91人、児童対象149回1,086人	H22 開館日数 308日 利用者数 54,761人 H23 開館日数 310日 利用者数 54,235人 H24 開館日数 308日 利用者数 49,117人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — 55,695	15,938 19,428 19,058 1,271 — 55,695	13,874 18,276 18,109 — — 50,259	— — — — — —		

11	青少年市民会議	継続		A	<p>青少年健全育成活動が、市民総ぐるみで推進されるよう、関係機関・団体と協働して各種事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 7地区 ・青少年健全育成市民大会参加者 500名 	<p>H22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 6地区 ・青年海外協力隊激励 1名 ・青少年健全育成市民大会参加者 448名 <p>H23</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 6地区 ・青少年健全育成市民大会参加者 391名 <p>H24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区会議活動費助成 22地区 ・モデル地区補助事業 7地区 ・青少年健全育成市民大会参加者 500名 	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>A</td> <td>3,016</td> <td>2,982</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>A</td> <td>3,041</td> <td>3,041</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>A</td> <td>3,041</td> <td>3,036</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td></td> <td>4,004</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>13,102</td> <td>9,059</td> </tr> </tbody> </table>	H22	A	3,016	2,982	H23	A	3,041	3,041	H24	A	3,041	3,036	H25		4,004		H26				計		13,102	9,059	<p>こども育成課 (H24年度まで:青少年課)</p>
H22	A	3,016	2,982																													
H23	A	3,041	3,041																													
H24	A	3,041	3,036																													
H25		4,004																														
H26																																
計		13,102	9,059																													
12	青少年団体	継続		A	<p>青少年団体の自主活動を推進するため、補助金を交付し、活動の充実を図る。</p> <p>【補助金交付対象団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川越市青少年相談員協議会 ・ボーイスカウト西部初雁地区川越協議会 ・ガールスカウト川越地区協議会 ・川越市吹奏楽団 ・川越市少年の船・翼修了者の会 ・川越少年少女合唱団 	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市青少年相談員協議会 100,000円 ・ボーイスカウト西部初雁地区協議会 75,000円 ・ガールスカウト川越地区協議会 58,134円 ・川越市吹奏楽団 90,000円 ・川越市少年の船・翼修了者の会 47,000円 ・川越少年少女合唱団 100,000円 	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>A</td> <td>407</td> <td>269</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>A</td> <td>384</td> <td>382</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>A</td> <td>480</td> <td>470</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td></td> <td>470</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1,741</td> <td>1,121</td> </tr> </tbody> </table>	H22	A	407	269	H23	A	384	382	H24	A	480	470	H25		470		H26				計		1,741	1,121	<p>こども育成課 (H24年度まで:青少年課)</p>
H22	A	407	269																													
H23	A	384	382																													
H24	A	480	470																													
H25		470																														
H26																																
計		1,741	1,121																													
13	「子ども110番の家」	継続		A	<p>青少年を育てる市民会議の構成員である地区会議のうち、子ども110番の家を実施している地区会議に対して、運営に係る経費を対象に補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども110番の家実施地区会議数 16地区会議 (うち、12地区会議から請求があり交付した。) 		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>A</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>A</td> <td>325</td> <td>324</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>A</td> <td>325</td> <td>324</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>1,000</td> <td>998</td> </tr> </tbody> </table>	H22	A	350	350	H23	A	325	324	H24	A	325	324	H25		0		H26				計		1,000	998	<p>こども育成課 (H24年度まで:青少年課)</p>
H22	A	350	350																													
H23	A	325	324																													
H24	A	325	324																													
H25		0																														
H26																																
計		1,000	998																													
14	青少年の体験活動事業	継続		A	<p>次代を担う青少年の健全育成を図るため、第11回川越市少年の翼事業を実施した。</p> <p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前研修 3回 ・本研修 4泊5日、北海道河西郡中札内村他 ・研修生 市内中学生44名 	<p>H22 研修生44名 H23 研修生44名 H24 研修生44名</p>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>H22</td> <td>A</td> <td>3,510</td> <td>2,706</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>A</td> <td>3,310</td> <td>3,005</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>A</td> <td>3,200</td> <td>2,855</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td></td> <td>3,200</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>13,220</td> <td>8,566</td> </tr> </tbody> </table>	H22	A	3,510	2,706	H23	A	3,310	3,005	H24	A	3,200	2,855	H25		3,200		H26				計		13,220	8,566	<p>こども育成課 (H24年度まで:青少年課)</p>
H22	A	3,510	2,706																													
H23	A	3,310	3,005																													
H24	A	3,200	2,855																													
H25		3,200																														
H26																																
計		13,220	8,566																													

15	非行防止活動	継続		A	川越市少年指導センターで行う街頭補導活動及び相談業務等を通じて、問題行動等の早期発見・早期指導により、青少年の非行防止、犯罪の被害防止に努めた。 ・街頭補導回数 680回 ・延べ補導員数 3,054人 ・声かけ数 3,117回 ・相談件数 延べ43件(メール相談含む)	H21 ・街頭補導回数 673回 ・延べ補導員数 3,057人 ・声かけ数 3,437回 ・相談件数 延べ39件(メール相談含む) H22 ・街頭補導回数 673回 ・延べ補導員数 3,022人 ・声かけ数 3,005回 ・相談件数 延べ101件(メール相談含む) H23 ・街頭補導回数 681回 ・延べ補導員数 3,122人 ・声かけ数 3,480回 ・相談件数 延べ71件(メール相談含む) H24 ・街頭補導回数 680回 ・延べ補導員数 3,054人 ・声かけ数 3,117回 ・相談件数 延べ43件(メール相談含む)	H22 A 8,916 7,940 H23 A 8,972 8,462 H24 A 9,058 8,262 H25 9,729 H26 計 36,675 24,664	こども育成課 (H24年度まで:青少年課)
16	適応指導教室 (2-(2)-6の再掲)	継続		A	教育センター分室(リベール)において、不登校児童生徒への学校復帰を目指すための学習支援や体験活動等を実施した。	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	教育センター (旧 教育研究所)	
17	地域子どもサポート推進事業(学校応援団推進事業・学校支援地域本部事業を含む)	拡充	事業に携わった人数 10,000人	A	事業に携わった人数33,696人 各地区の事業合計数352 サポート委員の合計数607人 学校応援団活動の合計数225 市内14地区に分かれ、各地区での事業が活発に行われた。	事業に携わった人数 H22 15,409人(前年比138.8%) H23 22,196人(前年比144.0%) H24 33,696人(前年比151.8%) 各地区の事業合計数 H22 203(前年比114.0%) H23 269(前年比132.5%) H24 352(前年比130.9%) サポート委員の合計数 H22 569人(前年比103.1%) H23 572人(前年比100.5%) H24 607人(前年比106.1%) 学校応援団活動の合計数 H22 138(前年比129.0%) H23 144(前年比104.3%) H24 225(前年比156.3%)	H22 A 5,349 4,898 H23 A 5,000 4,225 H24 A 4,457 4,193 H25 4,025 H26 計 18,831 13,316	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)

18	ブックスタート事業	継続		A	4か月児健診会場等で、親子のふれあいについてのメッセージを伝えながら、保護者とあかちゃんに絵本を渡した。 48回実施し、2,718組が参加した。	H22 44回実施 2,601組 H23 48回実施 2,977組 H24 48回実施 2,718組	H22 A 566 362 H23 A 1,570 1,712 H24 A 1,448 1,517 H25 1,574 H26 計 5,158 3,591	中央図書館
19	いないいないばあのおはなし会	継続		A	0歳から1歳の乳児と保護者を対象に、読み聞かせと手遊びを行った。 4館合わせて94回実施し、1,822人が参加した。	H22 96回実施 1,805人参加 H23 96回実施 1,884人参加 H24 94回実施 1,822人参加	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — H26 計 0 0	中央図書館
20	民生委員・児童委員研修会	継続	年4回実施	A	民生委員・児童委員研修 ・中堅民生委員・児童委員研修 75人 ・現任主任児童委員研修 19人 ・新任主任児童委員研修 1人 ・新任民生委員児童委員研修 7人 民生委員児童委員研修を実施し、子どもに関する様々な問題に対応できるよう努めた。	・中堅民生委員・児童委員研修 H22:85人 H23:67人 ・現任主任児童委員研修 H22:20人 H23:20人 ・新任主任児童委員研修 H22:25人 H23:3人 ・新任民生委員児童委員研修 H22:355人 H23:13人	H22 A 170 114 H23 A 120 65 H24 A 120 66 H25 200 H26 計 610 245	福祉推進課
21	スチューデントサポーター派遣事業	継続		A	大学で心理学を学ぶ学生による不登校児童生徒への支援として、学校訪問や家庭訪問、教育センター分室(リベラ)における会話や学習支援により、児童生徒の悩みや不安の解消を図り、不登校の予防、解消に向けた支援を行った。		H22 A 488 220 H23 A 488 347 H24 A 458 334 H25 458 H26 計 1,892 901	教育センター (旧 教育研究所)
22	スクールボランティア(生徒指導推進委員)の配置	新規	150日 54名	A	学校における生徒指導上の諸課題に対応するために、小中学校にスクールボランティアを配置し、生徒指導体制の充実と児童生徒一人一人への適切な指導に努めた。のべ65名のスクールボランティアを一人当たり年間約150日配置し、諸課題の解決に取り組んだ。	H22 I期 18名 22校配置 II期 18名 26校配置 III期 18名 32校配置 H23 I期 21名 35校配置 II期 20名 34校配置 III期 21名 37校配置 H24 I期 21名 31校配置 II期 22名 33校配置 III期 22名 35校配置	H22 A 13,148 12,819 H23 A 13,148 12,607 H24 A 13,147 12,750 H25 12,296 H26 計 51,739 38,176	教育指導課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

5- (4) 体験活動・交流の促進

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	川越PTA連合会活動	継続		A	市内各小中学校PTAの常置委員会向けにPTA運営講座を開設。PTA活動の推進に努めた。	PTA運営講座(6回) ※うち1回は家庭教育学級運営講座として実施。	H22	A	90	82	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
							H23	A	90	84	
							H24	A	90	83	
							H25		85		
							H26				
							計		355	249	
2	子育て体験学習 (1-(3)-3の再掲)	拡充	10校	A	中学生を対象に「命の力」「命のつながり」を話し伝えることで、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養い、実際の乳幼児やその親とふれあうことで、自分がうまれてきたことに喜びを感じてもらうことを目的として、市民活動団体と協働委託事業で講座を実施した。	H22: 市内中学校7校で実施 ※提案型協働補助事業のため、市民活動支援課の予算で実施 H23: 市内中学校12校で実施 H24: 市内中学校9校で実施	H22	A	再掲	再掲	こども育成課 (H24年度まで:子育て支援課、青少年課)
							H23	A	再掲	再掲	
							H24	A	再掲	再掲	
							H25		再掲		
							H26				
		計									
		A	中学生社会体験事業及び交流事業 公立保育園受け入れ実績 27校 57回 受け入れ生徒数 790名 保育園訪問交流会 2校 2回 140名	社会体験事業等受け入れ H22 15校 H23 23校 H24 15校	H22	A	再掲	再掲	保育課		
					H23	A	再掲	再掲			
					H24	A	再掲	再掲			
					H25		再掲				
					H26						
					計						
		A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、赤ちゃんボランティア募集の周知に協力を行った。	チラシの配付	H22	B	再掲	再掲	健康づくり支援課		
					H23	A	再掲	再掲			
					H24	A	再掲	再掲			
					H25		再掲				
					H26						
					計						
		A	事業の実施について、どのような方法があるか、関係各課と検討した。		H22	B	再掲	再掲	中央公民館		
					H23	B	再掲	再掲			
					H24	A	再掲	再掲			
					H25		再掲				
					H26						
					計						
		A	子育て支援課が主体となって実施した事業について、中学校との調整を行った。		H22	B	再掲	再掲	教育指導課		
					H23	A	再掲	再掲			
					H24	A	再掲	再掲			
					H25		再掲				
					H26						
					計						

3	川越市子ども会育成団体連絡協議会活動	継続		A	広報誌の発行を通して、子ども会活動を広く理解・周知させることができた。また、市かるた大会や棚倉町交流事業を実施し、子ども会活動の活発化が図られ、青少年健全育成の一助がなされた。	広報誌「ひろば」発行 H22 4回 H24 4回 H23 4回 川越市かるた大会 H22 1回 H24 1回 H23 1回 棚倉町・川越市交流事業 H22 訪問・受入 各1回 H23 訪問・受入 各1回 H24 訪問・受入 各1回	H22 A 333 333 H23 A 333 333 H24 A 333 333 H25 333 H26 計 1,332 999	地域教育支援課 (旧 生涯学習課)
4	地域人材活用事業	継続	各校8回	B	特色ある学校づくりを推進していくため、指導体制を整え、地域人材を活用し、多様な教育活動や体験活動が展開できるようになった。 実施予定数…220回(55校×4回) 実施数…205回 実施率…93.2%	実施率 17年度…92% 18年度…100% 19年度…99% 20年度…99% 21年度…130% 22年度…136% 23年度…231% 24年度…93.2%	H22 A 990 1,800 H23 A 825 1,905 H24 B 660 615 H25 660 H26 計 3,135 4,320	学校管理課
5	中学生社会体験事業(2-(1)-2の再掲)	拡充	実施率100%	A	川越市中学生社会体験事業推進委員会での協議をもとに中学生が地域のなかで活動することにより多くの人々とのふれあいを通して社会性や自立心を育むことができた。「働くことへの大切さや意味を考える機会となった」や「仕事をするために周りの人と協力が大切なことを理解した」などAの判定をする生徒の数値が昨年度よりも増えている。	H22 ・参加生徒数 2,825名 ・協力事業所のべ771事業所 H23 ・参加生徒数 2,941名 ・協力事業所のべ828事業所 H24 ・参加生徒数 2,777名 ・協力事業所のべ798事業所	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	教育指導課
6	生きがい活動支援通所事業	継続	各クラス年1回ずつの交流会	A	霞ヶ関東小学校の空き教室を利用したデイサービスセンターを在校生が訪れ、利用者の高齢者と交流を図った。利用者は小学生の劇や発表(歌・手品・体操など)を喜び、小学生も昔遊び・かるた・トランプを利用者と一緒に楽しんだ。交流の中で、高齢者の戦争等の体験談に小学生が耳を傾ける様子も見られた。	H22・交流会 各クラス1回 ・卒業式後、利用者による卒業生の見送り H23・交流会 各クラス1回 ・利用者による卒業式後の卒業生見送りの例年実施しているが、雨のため急遽中止となった。 H24・交流会 各クラス1回 ・例年通り	H22 A 8,328 8,328 H23 A 8,184 8,184 H24 A 8,140 8,140 H25 8,489 H26 計 33,141 24,652	高齢者いきがい課
7	体験学習(小学生対象)	継続	12講座	A	「生きる力」をはぐむ野外教育プログラムなどの事業を開催した。 12公民館、30講座 参加者延人数:3,144人	H22 13公民館、19講座 参加者延人数 3,475人 H23 15公民館、16講座 参加者延人数 3,541人 H24 12公民館、30講座 参加者延人数 3,144人	H22 A 1,075 842 H23 A 1,058 856 H24 A 1,254 1,189 H25 1,269 H26 計 4,656 2,887	中央公民館

8	土曜子ども体験 (2-(2)-14の再掲)	継続	年22回	A	学校週5日制対応事業として、子どもに豊かな体験の場を提供するため、藍染めや鎧の着装、お正月飾りの作製等の体験を行った。毎月第二・三土曜日(8月を除く)を中心に実施した。24年度は、22回実施	H22 年21回 H23 年22回 H24 年22回	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	博物館
9	子ども博物館教室 (2-(2)-15の再掲)	継続	年3回	A	子どもに博物館に親しんでもらうとともに、身近な川越の歴史や文化財への理解や関心を深めるための学習に取り組んだ。天候もよく3回すべて実施することができた。	H22 年3回 H23 年2回 H24 年3回	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	博物館
10	夏休み子ども体験 (2-(2)-16の再掲)	継続	年3回	A	夏季休業日を活用して学校教育と連動した学習の場として、ミニ灯籠作り、探検！となりのまちの博物館、ミニ縄文土器を作ろうを行った。3回実施	H22 年3回 H23 年3回 H24 年3回	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	博物館
11	昔の遊び (2-(2)-17の再掲)	継続	年2回	A	昔のいろいろな遊びを体験することを通して、当時の人々のくらしや文化に親しむことを目的にわなげやコマ回しやビーズを使ったアクセサリー作り等の体験を行った。 2回実施	H22 年2回 H23 年2回	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	博物館
12	海外姉妹都市交流事業	継続	年間派遣件数 1件	A	ドイツ・オッフエンバッハ市に中学生交流団を派遣した。 期間 8月21日～8月28日 参加者 市内中学3年生22名、引率3名	年間派遣件数 平成22年度 1件 平成23年度 1件 平成24年度 1件	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 3,100 3,000	2,903 2,794 3,299 3,000 12,100 8,996	国際文化交流課 (H24年度まで:文化振興課) (計画策定時:国際交流課)

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

5-(5) 地域における子育て支援のネットワークづくり

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	地域子育て支援拠点事業 (5-(1)-5の再掲)	拡充	25箇所	B	子育て親子の交流の場の提供。育児相談。子育て講座の開催。子育て情報の提供。 ※子育て支援センター3箇所は公民館、公園等への出張支援も行っている。 【14箇所】	H22 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人6箇所) 計10箇所を実施。 H23 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人9箇所) 計13箇所を実施。 H24 子育て支援センター(公立1箇所、法人2箇所) つどいの広場(公立1箇所、法人10箇所) 計14箇所を実施。	H22 B 再掲 再掲 H23 B 再掲 再掲 H24 B 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	こども育成課 (H24年度まで:保育課)			
2	保育所による地域子育て支援事業 (5-(1)-6の再掲)	拡充		A	地域の親子へ園行事への参加の呼びかけ。園庭開放。 育児サークル支援。 【38箇所】	H22 公立20園 法人13園 計33園で実施。 H23 公立20園 法人17園 計37園で実施。 H24 公立20園 法人18園 計38園で実施。	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	保育課			
3	子育てサークルへの出前講座	拡充		A	公民館、自治会館等で自主的に活動する子育てサークルからの育児相談、子育て講座等の依頼により、保育士が出向き協力する。 サークル支援 33回	サークル支援 55回 1,156人 H24 サークル支援 33回 679人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	こども育成課 (H24年度まで:保育課)			
				A	公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施した。	講座開催回数 H22:7回406人 H23:2回 48人 H24:5回 201人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	健康づくり支援課			

4	子育てサークルへの施設提供	継続	随時	A	公民館は地域の学習拠点としての機能があり、住民の集会その他の公共的利用に供した。 開催公民館:17公民館、1分室、1分館 年間利用件数:48,010件 年間利用者:778,731人	年 H22 開催公民館:17公民館、1分室、1分館 年間利用件数:47,014件 年間利用者:779,974人 H23 開催公民館:17公民館、1分室、1分館 年間利用件数:47,586件 年間利用者:887,594人 H24 開催公民館:17公民館、1分室、1分館 年間利用件数:48,010件 年間利用者:778,731人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	中央公民館
5	子育てサロン事業	継続	19サロン	A	乳幼児をもつ親が交流できる場を設け、コミュニケーションを促進し、子育ての孤立化を防ぐため、子育てサロンの全市の展開をすすめた。 開催公民館:17公民館 サロン開催数:21サロン ロン延開催数:312回 参加者延人数:12,408人	サ 開催公民館 H22 17公民館 H23 17公民館 H24 17公民館 サロン開催数 H22 20サロン H23 21サロン H24 21サロン サロン延開催数 H22 297回 H23 312回 H24 312回 参加者延人数 H22 13,327人 H23 13,600人 H24 12,408人	H22 A 2,447 2,331 H23 A 2,385 2,385 H24 A 2,445 2,357 H25 2,460 H26 — — 計 9,737 7,073	中央公民館
6	子育てサポーター養成講座	継続	1講座	A	地域の子育てを支援する、子育てサポーターを養成する講座を開催した。 3館、3講座、開催数18回 参加者延人数:186人	H22 2館、2講座、開催数10回 参加者延人数:162人 H23 2館、2講座、開催数11回 参加者延人数:169人 H24 3館、3講座、開催数18回 参加者延人数:186人	H22 A 50 145 H23 A 77 153 H24 A 53 145 H25 136 H26 — — 計 316 443	中央公民館
7	子育てネットワーク事業	拡充		A	要保護児童対策地域協議会の実務者会議を子育て支援ネットワークとして位置付け、子育て支援に関して連携を図った。 実務者会議 6回	H22 実務者会議 9回 H23 実務者会議 9回 H24 実務者会議 6回	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)

8	子育て支援プロジェクトチームの設置	新規	年間12回	B	子育て支援事業の効果的な推進を図るため、子育て体験学習事業や子育て情報誌、子育て支援情報の周知方法等について協議した。	H22: 開催数 1回 H23: 開催数 3回 H24: 開催数 1回	H22	B	—	—	こども政策課 こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
							H23	B	—	—	
							H24	B	—	—	
							H25	—	—	—	
							H26	—	—	—	
							計		0	0	
			A	子育て支援プロジェクトチームにて、関係機関との連絡調整を図った。 プロジェクトチームで検討したメール配信については、児童館情報を定期的に配信した。		H22	B	—	—	こども育成課 (H24年度まで:青少年課)	
						H23	A	—	—		
						H24	A	—	—		
						H25	—	—	—		
						H26	—	—	—		
						計		0	0		
			A	子育て支援プロジェクトチームにて、関係機関との連絡調整を図った。		H22	A	—	—	保育課	
						H23	A	—	—		
						H24	A	—	—		
						H25	—	—	—		
						H26	—	—	—		
						計		0	0		
			A	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図った。		H22	A	—	—	健康づくり支援課	
						H23	A	—	—		
						H24	A	—	—		
						H25	—	—	—		
						H26	—	—	—		
						計		0	0		
			A	関係機関と連携を図り、市として子育て事業の方向性を検討した。	H22: 開催数 1回 H23: 開催数 3回 H24: 開催数 1回	H22	A	—	—	中央公民館	
						H23	A	—	—		
						H24	A	—	—		
						H25	—	—	—		
						H26	—	—	—		
						計		0	0		
			A	子育て支援プロジェクトチームにて関係機関との連絡調整を図った。		H22	B	—	—	教育指導課	
						H23	A	—	—		
						H24	A	—	—		
						H25	—	—	—		
						H26	—	—	—		
						計		0	0		

5- (6) 子育て情報提供の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	育児情報発信活動	拡充		A	子育て情報コーナーや、市のHP及びモバイルサイトの「子育て支援のページ」を整備して知りたい情報を簡単に取得できるように努めるとともに、メール配信サービスで登録者が必要とする情報を積極的に配信した。登録件数1,031件。配信数124件。各施策、各相談窓口など出産や子育てに関する情報を幅広く掲載した子育て情報誌「こえどちゃん」を発行して、母子手帳交付時、中学生以下のいる世帯の転入手続き時、そのほか希望者に配布し、情報提供の推進を図った。	H22 メール配信登録件数 800件 メール配信数 37件 情報誌 3,000冊配布 H23 メール配信登録件数 978件 メール配信数 114件 情報誌 5,100冊配布 H24 メール配信登録件数 1,031件 メール配信数 124件 情報誌 6,500冊配布	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)			
					毎月、子育て情報紙「子育てわくわく」を1,300部発行し、公民館等へ配布した。講座情報も広報への掲載、チラシ配布を行うことで、定期的な情報提供に努めた。子育て情報紙、施設一覧のホームページ掲載に加え、携帯への配信サービス、モバイルサイト掲載も実施し、より幅広い情報提供を行った。	H22 川越子育て情報誌 2,800部作成。 子育て情報紙 年12回 1,300部発行。 H23 子育て情報紙 年12回 1,300部発行。 H24 子育て情報紙 年12回 1,300部発行。	H22 A 300 300 H23 A 1 — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 301 300		こども育成課 (H24年度まで:保育課)		
					広報、ホームページの活用、乳幼児健診や相談、訪問指導等の事業において情報提供を行うとともに、子育て情報誌に母子保健情報のコーナーを設けてもらい、情報を発信した。		H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0			健康づくり支援課	
2	育児サークル支援	拡充		A	子育て情報誌にサークル紹介を掲載。サークル交流会を開催し、サークル間の交流を支援した。また、サークル状況調査を実施し、育児サークルの状況把握と支援センターの支援内容の情報提供に努めた。内容～手遊び、親子遊び、製作、ミニ勉強会等 育児サークル支援 33回、サークル交流会 1回	H22 育児サークル支援 52回、1,278人 サークル交流会 1回、12サークル H23 育児サークル支援 55回、1,156人 サークル交流会 1回、8サークル H24 育児サークル支援 33回、679人 サークル交流会 1回、10サークル	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 — —	こども育成課 (H24年度まで:保育課)			
					公民館等で活動する子育てサークルからの依頼により、出前講座を実施した。	講座開催回数 H22:7回 406人 H23:2回 48人 H24:5回 201人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0		健康づくり支援課		

3	市民との協働による子育て情報誌	新規	年間発行部数 6,000部	A	中央公民館の講座において育児に関してまとめた情報をベースにした子育て情報誌「こえどちゃん」の原版に有料広告を掲載し、新たな収入を確保することで充実した情報誌を効率よく作成した。また、母子手帳交付時、未就学児世帯の転入手続き時、そのほか希望者に情報誌を配布するとともに、電子ブック化して閲覧しやすい環境整備に努めた。	情報誌「こえどちゃん」 H22 H22配布 3,000冊 H23 H23配布用作成 3,000冊 H23 H23配布用追加作成 2,100冊 H23配布 5,100冊 H24配布用作成 6,500冊 H24 H24配布 6,500冊 H25配布用作成 7,000冊	H22 A 226 95 H23 A 404 403 H24 A 625 625 H25 1,137 H26 計 2,392 1,123	こども政策課 (H24年度まで:子育て支援課)
				A	子育て情報誌に母子保健情報のコーナーを設けてもらい、事業の情報提供を図った。また、乳幼児健診や訪問の際に情報誌を活用し情報提供を行った。 平成23年度より「こえどちゃん」を母子健康手帳と併せて配布するようになったため、新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問時の配付を終了とした。		H22 A 95 95 H23 A 95 — H24 A — — H25 — — H26 計 190 95	健康づくり支援課
				A	子育てガイドマップの作成を通して、親たちに仲間作りの場を提供し、育児に関する地域の情報をまとめ、市民に提供する子育てガイドマップ作成講座を開催した。 1公民館、1講座 参加者延人数 113人 年間発行部数6,500部	H22 1公民館、1講座 参加者延人数 256人 年間発行部数 6,000部 H23 1公民館、1講座 参加者延人数 280人 年間発行部数 5,100部 H24 1公民館、1講座 参加者延人数 113人 年間発行部数 6,500部	H22 A 125 139 H23 A 125 203 H24 A 117 98 H25 — — H26 計 367 440	中央公民館

(6)基本目標6 要支援児童へのきめ細かな取組の推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

6-1) 児童虐待防止対策の充実

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績 (単位:千円)				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	養育支援訪問事業	拡充		A	「こんにちは赤ちゃん事業」や関係機関等からの情報収集等により把握した養育支援が必要であると認めた家庭に対し、育児・家事の援助又は育児支援に関する技術的援助を専門の相談員等が訪問により実施する。	H22 ケース報告会議 12回 訪問ケース数 10件 延べ訪問件数 23件 H23 ケース報告会議 12回 訪問ケース数 12件 延べ訪問件数 17件 H24 ケース報告会議 12回 訪問ケース数 8件 延べ訪問件数 14件	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)			
2	家庭児童相談	拡充		A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。 相談件数 4,320件	H22 相談件数 3,645件 H23 相談件数 4,150件 H24 相談件数 4,320件	H22 A 4,961 4,948 H23 A 7,307 7,330 H24 A 9,687 9,459 H25 9,888 H26 — — 計 31,843 21,737	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)			
3	要保護児童対策地域協議会	拡充		A	要保護児童等の早期発見や適切な支援を図るため、当協議会において関係機関が情報や考え方を共有し、適切な連携ができるよう協議した。 代表者会議 1回 実務者会議 6回 個別ケース会議 23回	H22 代表者会議 1回 実務者会議 9回 H23 代表者会議 2回 実務者会議 9回 個別ケース会議 17回 H24 代表者会議 1回 実務者会議 6回 個別ケース会議 23回	H22 A 570 449 H23 A 670 403 H24 A 631 363 H25 610 H26 — — 計 2,481 1,215	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)			
4	ふれあい親子支援事業	継続		A	コアラの会(育児不安が強く、支援が必要な保護者のグループミーティング)を開催し、育児不安の解消に努めた。	コアラの会 H22: 12回 延53組 H23: 12回 延55組 H24: 11回 延54組	H22 A 288 288 H23 A 288 286 H24 A 290 253 H25 A 290 H26 — — 計 1,156 827	健康づくり支援課			
5	保健師による訪問指導	拡充		A	児童虐待予防のため、訪問による支援が必要な母子に対し、保健婦等による訪問指導を実施した。また、要支援者への関わりの学びを深めるため、講師を招いての事例検討会を実施した。	延訪問件数 H22:延435件 H23:延586件 H24:延590件	H22 A 60 60 H23 A 60 60 H24 A 60 60 H25 60 H26 — — 計 240 180	健康づくり支援課			
6	こんにちは赤ちゃん事業	新規	訪問率(産婦・新生児訪問指導を含む) 100%	A	生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、子育て支援と情報提供を行った。	H22:2,395件訪問 82.6% H23:2,429件訪問 84.7% H24:2,367件訪問 80.5%	H22 A 11,111 9,758 H23 A 10,821 10,000 H24 A 10,821 10,023 H25 10,821 H26 — — 計 43,574 29,781	健康づくり支援課			

7	周産期からの虐待予防強化事業	新規	A	高度専門医療機関と連携し、周産期の段階から支援が必要とされる家庭を積極的に把握し、訪問等を行い支援し、早期に育児不安の解消を図った。	情報提供件数 H22: 67件 H23: 72件 H24: 117件	H22	A	—	—	健康づくり支援課
						H23	A	—	—	
						H24	A	—	—	
						H25		—	—	
						H26		—	—	
						計		0	0	

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A: 順調 B: やや遅れている C: 遅れている D: 当該年度予定なし E: 終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位: 千円)

6-(2) ひとり親家庭等の自立支援の推進

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	ひとり親家庭相談	拡充		A	母子自立支援員がひとり親家庭の親などの様々な悩みや社会生活全般についての相談に応じた。 母子家庭相談 8,220件 父子家庭相談 119件	H22 母子家庭相談 6,075件 父子家庭相談 53件 H23 母子家庭相談 7,067件 父子家庭相談 121件 H24 母子家庭相談 8,220件 父子家庭相談 119件	H22	A	6,894	6,894	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)
H23	A	6,872	6,852								
H24	A	6,873	6,849								
H25		6,871									
H26											
計		27,510	20,595								
2	母子家庭等日常生活支援事業	拡充		A	母子家庭の母が出産に伴い、一時的に生活困難になった家庭に対して、支援員を派遣した。 派遣世帯 4世帯(延べ38時間)	H22 派遣世帯 1世帯(延べ7時間) H23 派遣世帯 7世帯(延べ73時間) H24 派遣世帯 4世帯(延べ38時間)	H22	A	125	11	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)
H23	A	92	112								
H24	A	92	59								
H25		92									
H26											
計		401	182								
3	母子寡婦福祉資金	継続		A	母子家庭の母及び寡婦の経済的自立を図り、併せてその児童の福祉の推進を図るため、必要な資金を貸し付けた。 母子 170件 85,064,000円 寡婦 2件 1,188,000円 また、貸し付けた資金の償還も行った。	H22 母子 162件 82,961,500円 寡婦 1件 636,000円 H23 母子 165件 83,251,000円 寡婦 2件 1,368,000円 H24 母子 170件 85,064,000円 寡婦 2件 1,188,000円	H22	A	89,000	83,873	こども安全課 (H24年度まで: 子育て支援課)
H23	A	84,000	84,820								
H24	A	100,400	86,467								
H25		92,100									
H26											
計		365,500	255,160								
4	児童扶養手当	継続		A	父又は母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立の促進を図るため、当該児童を養育している者に児童扶養手当を支給した。 総支給額 1,096,816,300円 受給資格者 2,869人(H24年度末現在)	H22: 総支給額 1,013,786,506円 受給資格者 2,683人(年度末) H23: 総支給額 1,072,923,661円 受給資格者 2,823人(年度末) H24: 総支給額 1,096,816,300円 受給資格者 2,869人(年度末)	H22	A	1,013,787	1,013,787	こども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)
H23	A	1,084,969	1,072,924								
H24	A	1,124,478	1,096,817								
H25		1,140,000									
H26											
計		4,363,234	3,183,528								
5	川越市遺児手当	継続		A	遺児の健全な育成を図るため、当該遺児の保護者に遺児手当を支給した。 総支給額 1,904,000円 受給資格者 15人(H24年度末現在)	H22: 総支給額 2,516,000円 受給資格者 17人(年度末) H23: 総支給額 2,269,500円 受給資格者 18人(年度末) H24: 総支給額 1,904,000円 受給資格者 15人(年度末)	H22	A	2,856	2,516	こども政策課 (H24年度まで: 子育て支援課)
H23	A	2,856	2,270								
H24	A	2,652	1,904								
H25		2,346									
H26											
計		10,710	6,690								

6	母子生活支援施設	継続		A	母子家庭又はそれに準ずる事情の家庭で、その監護すべき児童の福祉に欠けるところがある場合、母子ともに入所させ、保護、指導を行うとともに自立を支援した。 また、退所した母子の生活状況の把握と生活安定のための支援に努めた。 19世帯(人数 74人)	入所世帯数 H22 70世帯(人数225人) H23 32世帯(人数129人) H24 19世帯(人数74人)	H22 A 7,288 4,947 H23 A 4,045 3,833 H24 A 4,166 3,378 H25 4,618 H26 計 20,117 12,158	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
7	ひとり親家庭等医療費	継続		A	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図るためにひとり親家庭等に医療費の一部を支給した。 支給件数 25,513件 支給額 66,707,066円	支給件数 H17 15,828件 H18 19,162件 H19 21,649件 H20 23,567件 H21 25,242件 H22 25,077件 H23 24,518件 H24 25,513件	H22 A 68,151 65,537 H23 A 70,131 63,890 H24 A 69,595 67,590 H25 74,143 H26 計 282,020 197,017	こども政策課 (H24年度まで:医療助成課)
8	母子家庭等就業・自立支援センター事業	新規	延べ利用者数 300人/年	A	託児付きの就労支援セミナーやパソコン講座を開催することにより、就労面から母子家庭の自立を支援した。また、併せて就労に関する相談を受け付けた。 セミナー 15人 パソコン講座 22人 就労相談 287人	セミナー パソコン講座 就労相談 H22 13人 24人 323人 H23 8人 23人 319人 H24 15人 22人 287人	H22 A 196 165 H23 A 213 123 H24 A 140 83 H25 175 H26 計 724 371	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
9	ひとり親家庭生活支援事業	新規	延べ利用者数 80人/年	A	母子家庭の母などの情報交換の場であるシングルマザー交流会を開催した。 全4回 延べ47人(母子)	H22 4回 延べ65人 H23 3回 延べ33人 H24 4回 延べ47人	H22 A 223 168 H23 A 231 118 H24 A 167 148 H25 180 H26 計 801 434	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
10	母子家庭等自立支援給付金事業	新規		A	主体的に資格取得等を目指す母子家庭の母を対象に給付金を支給した。 高等技能訓練促進費 28件(延べ311月) 入学支援修了一時金 10件 自立支援教育訓練給付金 0件	H22 高等技能:20件(延べ236月) 教育訓練:4件 H23 高等技能:29件(延べ317月) 入学支援修了一時金:7件 教育訓練:4件 H24 高等技能:28件(延べ311月) 入学支援修了一時金:10件	H22 A 31,191 30,675 H23 A 58,849 41,288 H24 A 52,108 37,329 H25 33,449 H26 計 175,597 109,292	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
11	母子自立支援プログラム策定事業	新規	プログラム策定件数 40件/年	A	児童扶養手当受給者を対象に、自立を促進するための自立支援プログラムを策定し、きめ細やかで継続的な就労支援を行った。 プログラム策定件数 15件	H22 プログラム策定件数 39件 H23 プログラム策定件数 40件 H24 プログラム策定件数 15件	H22 A 1,152 1,136 H23 A 1,152 1,168 H24 A 1,152 1,152 H25 1,152 H26 計 4,608 3,456	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)

12	女性のための相談事業	継続	相談日数 100日/年	A	DV、女性の抱えるさまざまな問題、性別による差別的扱い等に関する相談に対し、問題を解決するための助言、関係機関の紹介等を行った。	H22 カウンセリングルーム 67件 女性相談 256件 H23 カウンセリングルーム 65件 女性相談 341件 H24 カウンセリングルーム 73件 女性相談 392件	H22 A 2,275 2,373 H23 A 2,796 2,658 H24 A 2,834 2,546 H25 2,834 H26 計 10,739 7,577	男女共同参画課
13	川越市父子家庭貸付事業	新規		A	父子家庭の父の経済的自立を図り、併せてその児童の福祉の増進を図るため、必要な資金を貸し付けた。 4件 1,432,000円	H22 2件 222,000円 H23 3件 1,448,000円 H24 4件 1,432,000円	H22 A 3,035 251 H23 A 3,021 1,454 H24 A 1,813 1,438 H25 1,809 H26 計 9,678 3,143	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

6-(3) 障害児施策の充実

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	生活サポート事業	継続		A	対象者数 114人	対象者数 平成22年度 104人 平成23年度 105人 平成24年度 114人	H22 A 6,189 6,189 H23 A 7,467 6,695 H24 A 5,869 6,380 H25 7,245 H26 計 26,770 19,264	障害者福祉課			
2	緊急一時保護事業	継続		A	保護件数 114件 実利用人数 26人	H22 保護件数 216件 実利用人数 34人 H23 保護件数 160件 実利用人数 31人 H24 保護件数 114件 実利用人数 26人	H22 A - - H23 A - - H24 A - - H25 H26 計 0 0	障害者福祉課			
3	障害のある子どもへの補装具等の交付	継続		A	購入 293件 40,703,197円 修理 107件 3,409,292円	H22 購入 212件 23,704,118円 修理 94件 2,067,103円 H23 購入 181件 22,349,067円 修理 87件 2,932,628円 H24 購入 293件 40,703,197円 修理 107件 3,409,292円	H22 A 30,822 25,771 H23 A 23,904 25,282 H24 A 26,677 44,112 H25 35,820 H26 計 117,223 95,165	障害者福祉課			

4	障害のある子どもへの各種手当の支給	継続	A	重度の障害児に対して、経済的及び精神的負担の軽減を図るため障害児福祉手当を支給した。 14,330円×296人=4,241,680円(延べ人数) 14,280円×1,495人=21,348,600円(延べ人数) ※年度途中で単価の変更あり	H22 14,380円×1,679人=24,144,020円(延べ人数) H23 14,380円×287人=4,127,060円(延べ人数) 14,330円×1,458人=20,893,140円(延べ人数) H24 14,330円×296人=4,241,680円(延べ人数) 14,280円×1,495人=21,348,600円(延べ人数)	H22 A 24,158 24,144 H23 A 25,884 25,020 H24 A 25,794 25,590 H25 26,561 H26 計 102,397 74,754	障害者福祉課
				児童の心身の健やかな成長に資するため、在宅の障害児を育てている方に特別児童扶養手当を支給した(支給要件有)。 受給者数 435人	H22 受給者数 400人 H23 受給者数 407人 H24 受給者数 435人	H22 A 82 82 H23 A 82 82 H24 A 82 82 H25 82 H26 計 328 246	
5	障害者相談支援事業	継続	A	相談件数 5,034件	相談件数 H22 5,200件 H23 4,256件 H24 5,034件	H22 A 58,600 58,600 H23 A 58,840 58,840 H24 A 58,840 57,160 H25 58,840 H26 計 235,120 174,600	障害者福祉課
6	紙おむつ給付事業	継続	A	利用人数185人 延べ人数(年間)1,932人	H22 利用人数174人 (平成23年3月末) 延べ人数(年間)2,027人 H23 利用人数178人 (平成24年3月末) 延べ人数(年間)2,159人 H24 利用人数185人 延べ人数(年間)1,932人	H22 A 9,023 9,023 H23 A 9,754 9,487 H24 A 10,259 8,373 H25 8,906 H26 計 37,942 26,883	障害者福祉課
7	統合保育事業 (5-(2)-3の再掲)	継続	A	障害児及び健常児の成長と発達を促進するため、保育所において統合保育を実施している。	平成22年4月時 73人実施 平成23年4月時 73人実施 平成24年4月時 74人実施	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	保育課
8	グループ指導会	継続	A	家庭児童相談員が、発達に心配のある3歳児を対象に、将来の集団生活に備えて、小グループにおいて親子での遊びを中心とした発達支援を行った。 32回 延べ561人	H22 30回 延べ626人 H23 31回 延べ391人 H24 32回 延べ561人	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)

9	家庭児童相談 (6-(1)-2の再掲)	拡充	A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。 相談件数 4,320件	H22 相談件数 3,645件 H23 相談件数 4,150件 H24 相談件数 4,320件	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
10	障害のある子どもに対する教職員研修事業	継続	A	障害のある児童生徒への理解と指導力の向上、校内支援体制の整備に向け、研修を実施した。 特別支援教育コーディネーター養成研修会3回168名参加 就学相談担当者研修会1回 54名参加 発達障害の理解と指導法研修会3回 78名参加 特別支援教育支援員研修会1回 107名 特別支援学級・通級指導教室担当者研修会1回 23名	研修の充実により、特別支援教育への理解と指導力の向上が図られた。	H22 A 125 40 H23 A 100 20 H24 A 80 33 H25 50 H26 計 355 93	教育センター (旧 教育研究所)
11	知的障害児通園施設	新規	B	あけぼの児童園において、知的障害のある子供の特性に応じて日常生活及び社会適応のための支援を行った。 通園児童数 28名	H22 30名 H23 32名 H24 28名	H22 B 59,534 56,154 H23 B 59,133 56,853 H24 B 57,929 56,064 H25 59,345 H26 計 235,941 169,071	保育課
12	肢体不自由児認可通園施設	拡充	B	ひかり児童園等施設整備検討委員会において施設の導入機能及び建設場所等について検討を行った。 実施回数3回		H22 B — — H23 B — — H24 B 1,000 0 H25 1,500 H26 計 2,500 0	保育課
13	特別支援教育支援員(自立支援サポーター)の配置	継続	A	通常の学級に在籍する発達障害等のある児童生徒を支援するために、自立支援サポーター33名を年間74日派遣した。	小学校31校、中学校11校からの要請に対し、42校全てに配置し、個別学習指導や一斉学習指導における個別支援や適応指導等を通して、小学校・中学校に適切な支援を行うことができた。	H22 A 6,599 5,619 H23 A 9,863 8,587 H24 A 11,312 11,624 H25 10,908 H26 計 38,682 25,830	教育センター (旧 教育研究所)
14	特別支援教育支援員(臨時指導員)の配置	継続	A	介助等を必要とする児童生徒に対して、小学校19校、中学校9校、市立特別支援学校1校に特別支援教育支援員(臨時指導員)76名を配置した。	要請のあった市立小・中・特別支援学校に配置し、児童生徒の学習活動における介助等を実施することで、障害のある児童生徒への教育の充実を図ることができた。	H22 A 109,831 86,951 H23 A 103,624 92,324 H24 A 94,959 82,275 H25 88,917 H26 計 397,331 261,550	教育センター (旧 教育研究所)
15	ダウン症のある子どもを持つ親の会(1-(1)-22の再掲)	継続	A	いもっこの会(ダウン症のある子どもを持つ親の会)を開催し、親同士の交流の場として情報交換を実施した。	いもっこの会 H22: 9回 延94人 H23: 11回 延88人 H24: 11回 延96人	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	健康づくり支援課

16	すくすくクリニック (1-(1)-24の再掲)	継続		A	低体重児等を対象に診断、相談を行い、健やかな発育発達を支援した。	すくすくクリニック H22:12回 延65人 H23:11回 延40人 H24:10回 延59人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	健康づくり支援課
17	発育・発達クリニック (1-(1)-25の再掲)	拡充		A	成長や精神・運動発達に心配がある乳幼児を対象に医師による診察・相談を行い、発育発達を支援した。平成24年度から子どもの心の健康相談と統合した。	発育発達クリニック H22:11回 延71人 H23:11回 延71人 H24:23回 延117人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	健康づくり支援課
18	子どものこころの健康相談 (1-(1)-26の再掲)	拡充		E	平成24年度より発育発達クリニックと統合した。こころの健康相談対象者は発育発達クリニックにて支援した。	子どものこころの健康相談 H22:11回 56人 H23:11回 48人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A E 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	健康づくり支援課
19	自立支援医療(育成医療)給付 (1-(4)-4の再掲)	継続		A	身体に障害のある児童に対して、健全育成・福祉の向上を図るため必要な医療の給付を行った。	受給者 H22:115人 H23:108人 H24:113人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	健康づくり支援課
20	小児慢性特定疾患医療給付 (1-(4)-6の再掲)	継続		A	小児慢性特定疾患のうち、国が指定した特定疾患について病気の治療研究を推進し、家族の経済的負担を軽減するため、必要な医療の給付を行った。	受給者 H22:255人 H23:263人 H24:267人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	健康づくり支援課
21	学童保育事業 (5-(1)-1の再掲)	拡充	学童保育室入室の規定に対して障害児の受け入れは100%入室	A	保護者の就労等により、放課後の家庭が常時留守になっている障害のある児童を、市内32学童保育室で保育した。【51人】 障害児に関わらず、入室の規定に適合していれば100%受け入れている。	年度当初学童保育室に入室する障害のある児童数 平成20年度 64人 平成21年度 48人 平成22年度 50人 平成23年度 54人 平成24年度 51人	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A 再掲 再掲	再掲 再掲 再掲 再掲	教育財務課

(7)基本目標7 子ども等にやさしく、安全・安心なまちづくりの推進

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

7-1) 良質な住宅・良好な居住環境の確保

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	地域優良賃貸住宅	継続		D	新規供給計画の申請なし	市認定実績なし 市内特優賃戸数(県認定分) 20年度末 161戸 21年度末 159戸 22年度末 131戸 23年度末 120戸 24年度末 114戸	H22	D	2,028	—	建築住宅課
						H23	D	1,014	—		
						H24	D	—	—		
						H25		—	—		
						H26		—	—		
						計		3,042	0		
2	公営住宅における優先入居	継続		A	登録方式による入居募集に際し、母子世帯、多子世帯を優遇して登録を行った。	H22(入居は23年度) 【母子世帯の登録数】18世帯 【多子世帯の登録数】3世帯 H23(入居は24年度) 【母子世帯の登録数】22世帯 【多子世帯の登録数】1世帯 H24(入居は25年度) 【母子世帯の登録数】23世帯 【多子世帯の登録数】1世帯	H22	A	—	—	建築住宅課
						H23	A	—	—		
						H24	A	—	—		
						H25		—	—		
						H26		—	—		
						計		0	0		
3	シックハウス対策	継続		A	建築基準法に基づく確認、検査を行った。		H22	A	—	—	建築指導課
						H23	A	—	—		
						H24	A	—	—		
						H25		—	—		
						H26		—	—		
						計		0	0		

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

7-(2) 安全な道路交通環境の整備

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課		
							年度	進捗状況	予算額	決算額			
1	歩行空間のバリアフリー化	継続	1,960m	A	歩道付道路を9路線1,275m整備した。	H22 歩道整備延長 306m H23 歩道整備延長1,085m H24 歩道整備延長1,275m	H22	A	—	—	道路街路課 (H24年度まで:道路建設課) ※道路建設課分		
					A	川越駅南大塚線、川越所沢線の歩道350mの整備を行った。	H22 歩道整備 17m H24 歩道整備 350m	H22	A	—		—	道路街路課 (H24年度まで:街路課) ※街路課分
						A	歩道付き道路の整備を754.2m行った。 (内訳368.2m+80.0m+306.0m)	H22 歩道整備 L=78.6m H23 歩道整備 L=434.8m H24 歩道整備 L=754.2m	H22	A		—	
2	屋外広告物の撤去	継続		A	違反広告物の掲出数そのものが年々減少傾向にあり、市民ボランティアの方々による地域に密着した除却活動の成果が着実に現れている。	H22:合計 8,434個(枚) H23:合計 9,433個(枚) H24:はり紙 1,072枚 はり札 7,253枚 立看板 49個 合計 8,374個(枚)	H22	A	1,251	962	都市景観課		
							H23	A	557	557			
							H24	A	671	546			
							H25		449				
							H26						
計		2,928	2,065										
3	生活道路における安全対策	継続	100箇所	A	路面標示等による事故防止対策を実施した。 63箇所 ゾーン30対策事業 1地区	22年度115箇所 23年度323箇所 24年度 63箇所、ゾーン30対策1地区	H22	A	59,874	54,868	防犯・交通安全課		
							H23	A	51,808	48,254			
							H24	A	50,774	47,913			
							H25		81,551				
							H26						
計		244,007	151,035										
4	カーブミラーの整備	継続	80基	A	カーブミラーの新設・修繕を行った。 新設 66基 修繕 180基	22年度新設100基、修繕188基 23年度新設70基、修繕205基 24年度新設66基、修繕180基	H22	A	項目3に含まれる		防犯・交通安全課		
							H23	A					
							H24	A					
							H25						
							H26						
計		0	0										

5	交通安全看板	継続	40本	A	警戒標識・注意看板を設置した。 48本	22年度62本 23年度67本 24年度48本	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — 0	項目3に含まれる 0	0	防犯・交通安全課
6	道路照明灯	継続	3基	A	道路照明灯を新設した。 新設 4基	22年度新設6基 23年度新設6基 24年度新設4基	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — 0	項目3に含まれる 0	0	防犯・交通安全課
7	信号機	継続		A	信号機等交通規制に関することは、所管が埼玉県公安委員会となるので、信号機設置箇所等について川越警察署と連携を図っている。		H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — 0	— — — — — 0	— — — — — 0	防犯・交通安全課

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

(単位:千円)

7-(3) 安全・安心なまちづくり

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	安全・安心な都市公園の整備	拡充	改修数 年間20箇所	B	市民サービス向上のため、公園の施設改修や新規整備を実施。 実施公園数16公園 その他 ・砂場の浄化 111公園 ・高木等の剪定 10公園 ・遊具等の保守点検 166公園	H22: 延べ11公園の整備及び改修・補修を実施 H23: 延べ11公園の整備及び改修・補修を実施 H24: 延べ16公園の整備及び改修・補修を実施	H22 H23 H24 H25 H26 計	B B B — — 327,574	89,474 85,900 117,000 35,200 — 261,335	88,124 69,600 103,611 — — —	公園整備課
2	旅客施設、車両等のバリアフリー化	継続	駅施設のバリアフリー化 100% ノンステップバス導入率 100%	A	ノンステップバス導入に対して補助を行った。(6台)	市内12駅(地平駅含む)全てがバリアフリー対応。(平成23年度完了) ノンステップバス導入率86.8%(平成24年度末現在)	H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — 191,180	96,897 82,264 4,982 7,037 — 97,414	12,085 81,267 4,062 — — —	交通政策課
3	バリアフリー新法に基づく所要の措置	継続		A	建築基準法に基づく確認、検査を行った。		H22 H23 H24 H25 H26 計	A A A — — 0	— — — — — 0	— — — — — 0	建築指導課

4	公共施設等のバリアフリー化	拡充	1,960m	A	歩道付道路を1,275m整備した。	H22 歩道整備延長 306m H23 歩道整備延長1,085m H24 歩道整備延長1,275m	H22 A 175,200 72,248 H23 A 139,500 203,874 H24 A 334,074 282,925 H25 197,200 H26 計 845,974 559,047	道路街路課 (H24年度まで:道路建設課) ※道路建設課分
				A	川越駅南大塚線、川越所沢線の歩道350mの整備を行った。	H22 歩道整備 17m H24 歩道整備 350m	H22 A 12,200 11,086 H23 A — — H24 A 91,500 62,174 H25 191,900 H26 計 295,600 73,260	道路街路課 (H24年度まで:街路課) ※街路課分
				A	歩道付き道路の整備を754.2m行った。 (内訳368.2m+80.0m+306.0m)	H22 歩道整備 L=78.6m H23 歩道整備 L=434.8m H24 歩道整備 L=754.2m	H22 A 7,896 6,284 H23 A 9,000 8,377 H24 A 13,000 6,172 H25 48,700 H26 計 78,596 20,833	道路環境整備課
				A	小仙波庁舎改修工事	H22 福原小及び川越小の体育館耐震補強工事に伴うトイレのバリアフリー化 H24 小仙波庁舎改修工事に伴い、玄関スロープ、トイレの手すり等の設置を行った。	H22 A — — H23 D — — H24 A — — H25 — — H26 計 0 0	建築住宅課
5	本庁舎における、子育て世帯にやさしいトイレ等の整備	継続		新規供給計画の申請なし	H24 未実施	H22 A 1,300 1,280 H23 A 2,584 2,552 H24 D — — H25 — — H26 計 3,884 3,832	管財課	
6	防犯灯の整備	継続	年間の新設 灯火 350灯	防犯灯の新設及び既設の整備を行った。 新設:162灯 修繕:500灯	新設工事 H17:235灯 H18:216灯 H19:223灯 H20:214灯 H21:195灯 H22:162灯 H23:168灯 H24:162灯	H22 A 46,657 43,581 H23 A 74,935 72,994 H24 A 55,241 55,084 H25 60,248 H26 計 237,081 171,659	防犯・交通安全課	

7	赤ちゃんの駅	新規	50箇所	A	市内の公共施設41カ所を「赤ちゃんの駅」として指定して、授乳及びおむつ替等のスペースを提供した。 また、埼玉県との共催事業として民間施設においても「赤ちゃんの駅」を実施し、川越市内で合計125箇所の施設を登録。 登録施設には標識フラッグ等を掲示し、HPやモバイルサイトのほか、子育て情報誌、川越観光パンフレット、川越まつりパンフレット、小江戸川越マップ(HP上)に掲載した。	H22	A	2,615	2,333	こども育成課 (H24年度まで:子育て支援課)
						H23	A	—	—	
						H24	A	—	—	
						H25		—	—	
						H26		—	—	
						計		2,615	2,333	

【網掛け】重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

7-(4) 子ども等の交通安全を確保するための活動の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	交通安全教育	拡充	180回 21,000人	A	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るため実施した。 160回 15,926人	22年度安全教育177回 参加者 17,515人 23年度安全教育181回 参加者 18,687人	H22	A	2,040	1,988	防犯・交通安全課
							H23	A	2,040	1,892	
							H24	A	2,040	1,618	
							H25		2,040		
							H26				
							計		8,160	5,498	
2	児童の登校時の交通安全確保	継続		A	児童・生徒の登校時における交通安全の確保・正しい交通ルールとマナーの指導を図るために実施した。 朝の立哨回数 9,265回	22年度朝の立哨回数 8,860回 23年度朝の立哨回数 9,241回	H22	A	12,480	10,632	防犯・交通安全課
							H23	A	12,240	11,089	
							H24	A	11,760	11,118	
							H25		11,760		
							H26				
							計		48,240	32,839	
3	交通安全推進団体への補助	継続		A	交通安全推進協議会に¥1,290,000・交通安全母の会に¥900,000・川越交通安全協会に¥450,000・交通指導員会に¥45,000を補助した。	交通安全推進協議会129万円・交通安全母の会90万円・川越交通安全協会45万円・交通指導員会4.5万円	H22	A	2,685	2,685	防犯・交通安全課
							H23	A	2,685	2,685	
							H24	A	2,685	2,685	
							H25		2,685		
							H26				
							計		10,740	8,055	
4	交通安全運動	継続	年4回 約1,500人参加	A	幼児・児童・母親及び高齢者に対する交通安全思想の普及を図るために実施した。 12回 1,290人	平成22年度の交通安全運動12回 参加者数 1,050人 平成23年度の交通安全運動12回 参加者数 1,050人	H22	A	1,161	413	防犯・交通安全課
							H23	A	431	397	
							H24	A	660	477	
							H25		660		
							H26				
							計		2,912	1,287	
5	放置自転車対策	継続	4,000台 撤去	A	子供、障害者、高齢者等の通行の妨げである駅付近の公道上の放置自転車を撤去し、また、自転車を放置しないよう啓発した。 【市内11駅、撤去回数417回、撤去台数3,666台】	H22 市内11駅、撤去回数282回、撤去台数3,632台 H23 市内11駅、撤去回数340回、撤去台数3,389台	H22	A	34,887	32,706	防犯・交通安全課
							H23	A	39,406	33,267	
							H24	A	37,556	32,029	
							H25		42,310		
							H26				
							計		154,159	98,002	

6	シートベルト、チャイルドシートの着用促進	継続	A	夏の交通安全キャンペーンの際に積極的に着用促進の啓発を行った。		H22	A	—	—	防犯・交通安全課
						H23	A	—	—	
H24	A	—	—							
H25		—	—							
H26										
計		0	0							
7	安全・安心な通学路の確保	新規	A	路面標示等による通学路の事故防止対策を実施した。 120箇所	H22路面標示48箇所・ヒヤリハットマップ55校 H23路面標示48箇所・H23道路照明灯5基 H24路面標示120箇所	H22	A	10,000	8,625	防犯・交通安全課
						H23	A	10,000	8,860	
						H24	A	20,000	19,831	
						H25		15,000		
			H26							
			計		55,000	37,316				
			A	歩道付き道路の整備を754.2m行った。 (内訳368.2m+80.0m+306.0m)	H22 歩道整備 L=78.6m H23 歩道整備 L=434.8m H24 歩道整備 L=754.2m	H22	A	—	—	道路環境整備課
						H23	A	—	—	
			H24	A	—	—				
			H25		—	—				
H26										
計		0	0							
A	児童・生徒の通学路については、学校や地域の実情に応じ、交通事故及び不審者等からの児童生徒の安全確保のために、日常点検及び定期点検を実施した。 通学路の点検結果をもとに、登下校時の安全に係る相談や通学路の整備に係る要望がある場合には、他課と連携して、通学路の整備を通して児童・生徒安全の確保に努めた。	通学路点検全校実施	H22	A	—	—	教育指導課			
			H23	A	—	—				
H24	A	—	—							
H25		—	—							
H26										
計		0	0							
8	児童等の自転車乗車時のヘルメットの着用	新規	A	小学校で行う交通安全教室で啓発した。 78回 延11,635人	平成22年度 79回 延11,504人 平成23年度 38回 延7,027人	H22	A	—	—	防犯・交通安全課
						H23	A	—	—	
H24	A	—	—							
H25		—	—							
H26										
計		0	0							

【網掛け】重点施策

【進捗状況】A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示

7-(5) 子ども等を犯罪等の被害から守るための活動の推進

(単位:千円)

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	川越市防犯のまちづくり基本方針に基づく各種施策	継続		A	防犯推進体制の整備、防犯意識の高揚、安全な地域コミュニティの推進強化に努めた。 ・市内の犯罪認知件数:4,241件	市内の犯罪認知件数 H17:7,836件 H18:7,226件 H19:6,654件 H20:6,152件 H21:5,807件 H22:5,165件 H23:5,081件 H24:4,241件	H22	A	10,150	10,126	防犯・交通安全課
						H23	A	9,935	9,892		
						H24	A	9,599	9,438		
						H25		9,692			
						H26					
						計		39,376	29,456		
2	防犯推進体制の整備	継続	自主防犯活動を行っている団体数(自治会・PTA)300団体	A	行政においては庁内関係部署による連絡会議・連携に努め、地域や警察関係との連携方策に取り組んだ。地域においては自治会を中心とした活動や地域防犯推進員等の活動の充実が図れるよう支援するとともに、「地域の安全は地域で守る」という認識に立ち、地域の推進体制整備に努めた。人員確保の問題等からほぼ毎年度同数の団体数となっているのが現状である。 ・自主防犯活動を行っている団体数304団体	自主防犯活動を行っている団体数 H21:250団体 H22:250団体 H23:250団体 H24:304団体 (H21~H23は自治会のみ計上) (H24は警察発表の数字)	H22	A	—	—	防犯・交通安全課
						H23	A	—	—		
						H24	A	—	—		
						H25		—	—		
						H26		—	—		
						計		0	0		
3	防犯意識の高揚(犯罪情報・防犯情報の収集と提供)	継続	メール配信サービスの登録件数10,000件	B	随時、犯罪情報を配信し、行政・警察・事業所・地域住民が情報の共有化を図ることで、連携の強化と地域における自主防犯活動の促進に努めた。 ・防犯対策情報・犯罪情報・不審者情報をEメールで配信 登録数:8,243件	登録状況 H18:5,041件 H19:7,988件 H20:9,187件 H21:9,166件 H22:9,224件 H23:8,941件 H24:8,243件	H22	A	2,073	2,073	防犯・交通安全課
						H23	A	2,205	2,205		
						H24	B	2,205	2,205		
						H25		2,167			
						H26					
						計		8,650	6,483		
4	安全な地域コミュニティの推進	継続	年間の提供団体数20自治会等	B	地域における自主防犯活動をはじめとした各種活動への参画を促進し、支援することにより、安全な地域コミュニティの推進に努めた。 ・防犯パトロール用資機材等の提供(新設自治会)1自治会 ・夜間パトロールグッズ配布8自治会(本庁管内)	防犯パトロール用資機材等の提供 H16:10自治会等(重点地域) H17:51自治会(強化地域) H18:2自治会(強化地域) H19:24自治会(強化地域) H21:5自治会(強化地域) H22:14自治会(強化地域) H24:1自治会(新設自治会)	H22	A	724	724	防犯・交通安全課
						H23	A	812	785		
						H24	B	483	356		
						H25		678			
						H26					
						計		2,697	1,865		

5	防犯実技研修会	継続	教員54名 スクールガード68名	A	スクールガードリーダー養成講習会を11月に実施し、不審者対応の実技講習会を行った。 具体的な護身術の講習を行うことで、防犯意識の啓発と実技の習得を図った。	H24 市内全小学校32校にスクールガードリーダーを配置した。	H22 A — — H23 A — — H24 A — — H25 — — H26 — — 計 0 0	教育指導課
6	児童虐待防止の啓発活動	継続	1回/年	A	平成25年1月19日(土)に、不登校の子どもと親の相談に20年以上関わっている広木克行氏による子育て講演会を実施した。 11月の「児童虐待防止推進月間」にポスター、パネル等の掲示をし啓発を促した。	H22 1回 参加者122名 H23 11月14日 参加者243名 1月28日 参加者425名 H24 1月19日 参加者163名	H22 A 138 132 H23 A 592 566 H24 A 167 167 H25 396 H26 計 1,293 865	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)
7	「子ども110番の家」 (5-(3)-13の再掲)	継続		A	青少年を育てる市民会議の構成員である地区会議のうち、子ども110番の家を実施している地区会議に対して、運営に係る経費を対象に補助金を交付した。 ・子ども110番の家実施地区会議数 16地区会議 (うち、12地区会議から請求があり交付した。)		H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	こども育成課 (H24年度まで:青少年課)

【網 掛 け】 重点施策

【進捗状況】 A:順調 B:やや遅れている C:遅れている D:当該年度予定なし E:終了

※再掲事業は予算額・決算額非表示
(単位:千円)

7-(6) 被害に遭った子どもの支援の推進

No.	事業名	目標	目標事業量	平成24年度末 進捗状況	平成24年度の事業実績 【目標事業量に対する実績値】	既存統計データ	後期計画期間の事業実績				所管課
							年度	進捗状況	予算額	決算額	
1	犯罪被害者支援推進協議会への補助	継続		A	被害者への支援として、市・警察・関係機関(協議会会員)への適切な引継ぎや被害者支援推進のための広報啓発に努めた。	川越市犯罪被害者支援推進協議会への助成 H17~H21年度1,440千円 H22年度~各年度243千円	H22 A 243 243 H23 A 243 243 H24 A 243 243 H25 243 H26 計 972 729	防犯・交通安全課			
2	家庭児童相談 (6-(1)-2の再掲)	拡充		A	子どもの発達に関すること、学校生活(幼稚園、保育園等も含む)、家族関係などの相談に応じた。 相談件数 4,320件	H22 相談件数 3,645件 H23 相談件数 4,150件 H24 相談件数 4,320件	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)			
3	要保護児童対策地域協議会 (6-(1)-3の再掲)	拡充		A	要保護児童等の早期発見や適切な支援を図るため、当協議会において関係機関が情報や考え方を共有し、適切な連携ができるよう協議した。 代表者会議 1回 実務者会議 6回 個別ケース会議 23回	H22 代表者会議 1回 実務者会議 9回 H23 代表者会議 2回 実務者会議 9回 個別ケース会議 17回 H24 代表者会議 1回 実務者会議 6回 個別ケース会議 23回	H22 A 再掲 再掲 H23 A 再掲 再掲 H24 A 再掲 再掲 H25 再掲 H26 計	こども安全課 (H24年度まで:子育て支援課)			